

令和5年度

あま市の保健



あま市子ども健康部健康推進課

目

次

1 あま市の概要

1	市の紹介	1
2	市の行政組織機構	2
3	市の財政状況	3
4	健康推進課の構成・事務分掌	4
5	保健センターの概要	5
6	保健統計（衛生統計）	6

2 母子保健事業

1	母子保健事業体系図	10
2	母子保健事業	11
3	母子保健事業詳細	13

3 成人保健事業

1	成人保健事業	29
2	成人保健事業詳細	32

4 高齢者保健事業（一般介護予防）

1	高齢者保健事業（一般介護予防）	45
2	高齢者保健事業（一般介護予防）詳細	46

5 歯科保健事業

1	歯科保健事業	49
2	歯科保健事業詳細	51

6 健康増進事業

1	健康増進事業	59
2	第2次あま市健康づくり計画	61
3	生き生き推進隊活動	66
4	食育ボランティア	67
5	健康都市連合、健康都市連合日本支部	68

7 予防接種事業

1	予防接種事業	72
2	予防接種事業詳細	74

8 新型コロナウイルス感染症対策事業

1	新型コロナウイルス感染症対策	83
2	新型コロナワクチン接種事業	84

9 自殺対策事業

1	自殺対策事業	88
2	自殺対策事業詳細	89

10 その他

1	保健師活動状況	93
2	学生実習指導	95
3	骨髄ドナー等助成事業	96
4	救急医療情報キットの配布	96
5	献血	97
6	災害対策訓練	97

1 あま市の概要

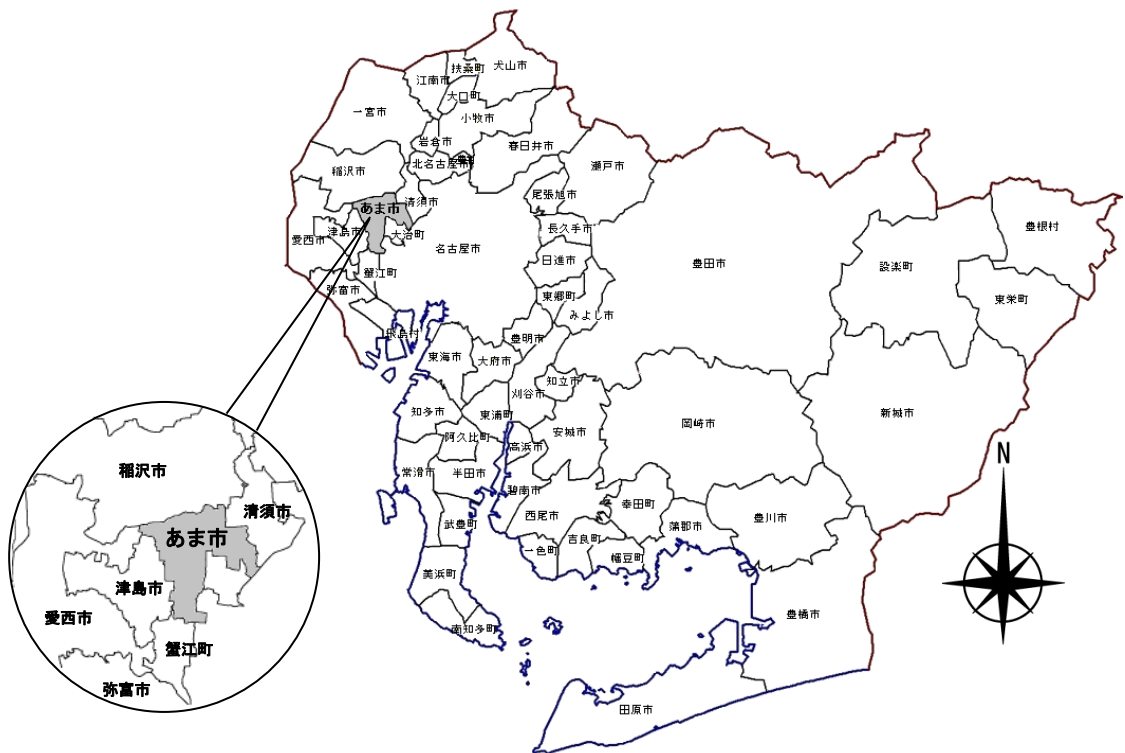
1 市の紹介

あま市は、愛知県の西部に位置し、5市（名古屋市、清須市、稲沢市、愛西市、津島市）2町（大治町、蟹江町）に接しています。

市域は東西約7.9キロメートル、南北約7.8キロメートルで、面積は27.49平方キロメートルです。

木曽川水系や庄内川水系によって形成された沖積層が厚く、肥沃な土壌となっている一方、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯の軟弱な地盤のため、地震発生時の危険性が高い地域でもあります。

近年は名古屋市のベッドタウンとしても発展し、名古屋市の中心部から公共交通機関で約15分という立地条件にありながら、田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しています。

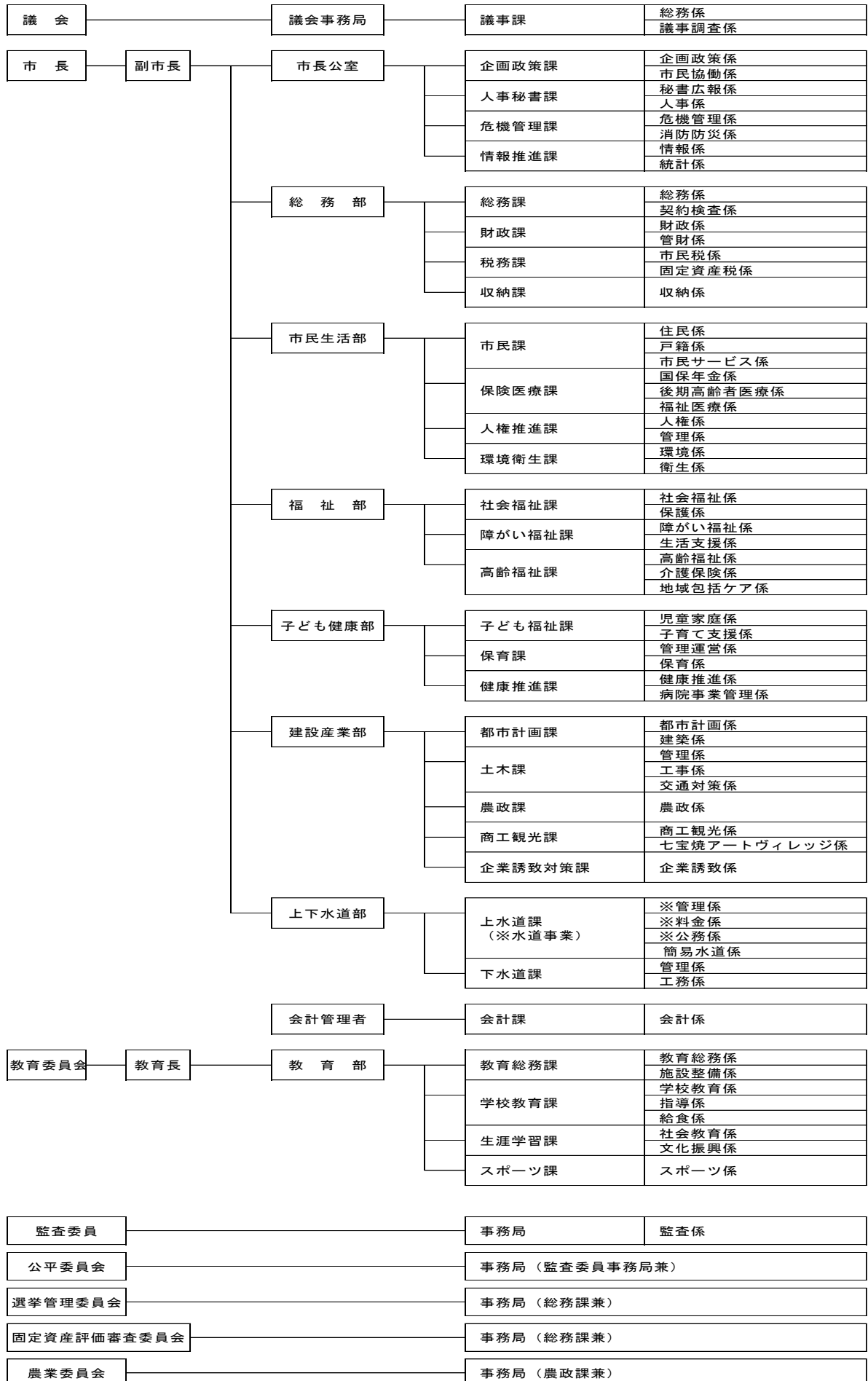


この地域の歴史は古く、市内からは弥生時代中期の遺跡も発掘されています。そして、市内には寺社や史跡が散在するとともに、甚目寺観音での「節分会」や萱津神社での「香の物祭」、蜂須賀蓮華寺での「二十五菩薩来迎会」など伝統文化が数多く残されています。

また、戦国時代に活躍した武将である蜂須賀小六正勝、福島正則をはじめ、7人もの大名を輩出した歴史のまちとしても知られており、七宝焼き（尾張七宝）で全国的に有名です。

令和5年4月1日から市の組織が変わり、健康推進課は「市民生活部」から新たに設置された「子ども健康部」となりました。また、5月8日から七宝町沖之島深坪1番地に新庁舎が開庁しました。

2 市の行政組織機構



3 市の財政状況

令和5年度一般会計決算

歳 入

区 分	金 額	構成比
	円	%
1 市税	11,552,988,010	31.74
2 地方譲与税	234,230,000	0.64
3 利子割交付金	5,291,000	0.01
4 配当割交付金	110,099,000	0.30
5 株式等譲渡 所得割交付金	113,755,000	0.31
6 法人事業税 交付金	190,235,000	0.52
7 地方消費税 交付金	1,980,958,000	5.44
8 自動車取得税 交付金	456,251	0.00
9 自動車税環境 性能割交付金	57,126,149	0.16
10 地方特例交付金	156,500,000	0.43
11 地方交付税	5,993,816,000	16.46
12 交通安全対策 特別交付金	10,448,000	0.03
13 分担金及び 負担金	151,490,382	0.42
14 使用料及び 手数料	279,017,783	0.77
15 国庫支出金	6,258,561,307	17.19
16 県支出金	2,578,875,971	7.08
17 財産収入	17,207,854	0.05
18 寄附金	72,868,580	0.20
19 繰入金	2,251,902,523	6.19
20 繰越金	1,834,548,168	5.04
21 諸収入	713,149,199	1.96
22 市債	1,840,043,000	5.05
歳入合計	36,403,567,177	100.00

歳 出

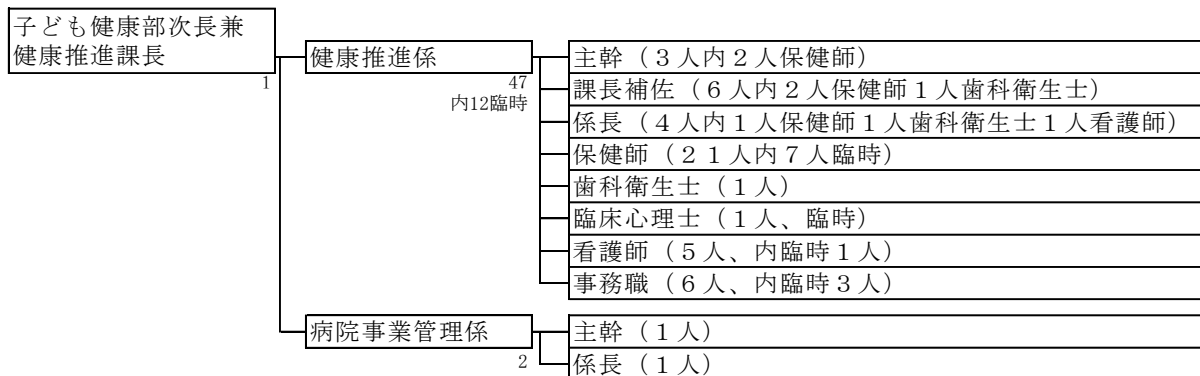
区 分	金 額	構成比
	円	%
1 議会費	236,303,345	0.67
2 総務費	3,619,373,653	10.24
3 民生費	12,715,438,635	35.96
4 衛生費	2,738,006,227	7.74
5 労働費	1,620,000	0.00
6 農林水産業費	449,072,553	1.27
7 商工費	518,828,301	1.47
8 土木費	1,480,446,005	4.19
9 消防費	1,248,097,995	3.53
10 教育費	3,451,035,044	9.76
11 災害復旧費	0	0.00
12 公債費	2,030,322,041	5.74
13 諸支出金	6,873,739,293	19.44
14 予備費	0	0.00
歳出合計	35,362,283,092	100.00

4 健康推進課の構成・事務分掌

(1) 構成

令和5年度

※令和5年4月1日現在（育児休暇中職員含む）



保健師（正職 24人 臨時 9人）

健康推進課

正職 19人
臨時 7人

保険医療課

正職 2人
臨時 1人

社会福祉課

臨時 1人

子ども福祉課

正職 1人

高齢福祉課

正職 1人

人事秘書課

正職 1人

(2) 事務分掌

健康推進係
・課の庶務に関すること。 ・保健センターの管理及び運営に関すること。 ・地域医療に関すること。 ・食品衛生に関すること。 ・献血に関すること。 ・感染症に関すること。 ・保健予防思想の普及に関すること。 ・健康の相談及び指導(保険医療課に属するものを除く。)に関すること。 ・各種健診(検診)(保険医療課に属するものを除く。)に関すること。 ・母子健康手帳の交付に関すること。 ・予防接種に関すること。 ・自殺対策に関すること。 ・養育医療に関すること。 ・その他健康推進に関すること。
病院事業管理係
・病院事業の運営及び管理に関すること。 ・病院事業会計に関すること。 ・病院事業の資産管理に関すること。 ・病院施設及び設備の維持及び管理に関すること。 ・その他病院事業に関すること。

5 保健センターの概要

甚目寺保健センター (甚目寺総合福祉会館内)	七宝保健センター
所在地：あま市西今宿馬洗46番地 敷地面積：6,770㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 3階建 建築面積：2,844㎡ 延床面積：5,096㎡ 工期：着工 平成5年6月12日 完成 平成6年8月31日 設計監理：株式会社 浦野設計 施工：株式会社フジタ名古屋支店 総事業費：3,033,805千円 	所在地：あま市七宝町桂弥勒28番地 敷地面積：1,863.36㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,082.356㎡ 工期：着工 昭和60年6月14日 完成 昭和61年3月15日 設計監理：株式会社石川一級建築士事務所 施工：村本建設株式会社名古屋支店 総事業費：245,280千円 
美和保健センター	
所在地：あま市花正中之割2番地 敷地面積：2,749.6㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,779.3㎡ 工期：着工 昭和61年7月8日 完成 昭和62年2月20日 設計監理：株式会社丹羽英二建築事務所 施工：安藤建設株式会社名古屋支店 総事業費：334,254千円 	

6 保健統計

(1) 人口と世帯

各年10月1日現在

年	区分	世帯数	人口		
			総数	男	女
平成30年		34,623	87,442	43,515	43,927
令和元年		35,167	87,651	43,549	44,102
令和2年		34,041	86,126	42,561	43,565
令和3年		34,451	86,015	42,480	43,535
令和4年		34,716	85,719	42,261	43,458
愛知県		3,293,208	7,497,521	3,734,414	3,763,107

資料：愛知県衛生年報

(2) 年齢3区分別人口割合

各年10月1日現在

年	区分	人口	年少人口 (人)	年少人口 割合(%)	生産年齢 人口(人)	生産年齢 人口割合 (%)	高齢人口 (人)	高齢人口 割合(%)
平成30年		87,442	11,896	13.7	51,998	59.8	23,054	26.5
令和元年		87,651	11,770	13.5	52,385	60.1	23,007	26.4
令和2年		87,629	11,694	13.4	52,392	60.1	23,057	26.5
令和3年		86,015	11,440	13.3	51,554	59.9	23,021	26.8
令和4年		85,719	11,306	13.2	51,489	60.1	22,924	26.7

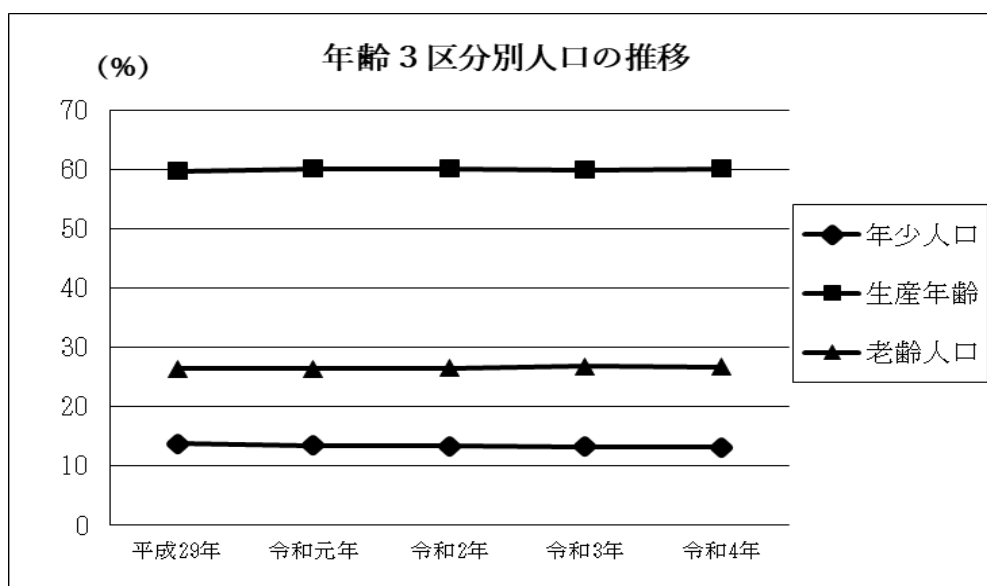
資料：愛知県統計年鑑

(注) 用語の説明

年少人口：14歳以下の人口

生産年齢人口：15歳以上64歳以下の人口

高齢人口：65歳以上の人口



(3) 人口動態統計

(単位: 人)

年	区分	出生数				死亡数				自然増減数	
		総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率
平成 30 年		675	347	328	7.7	834	494	340	9.5	△159	△1.8
令和元年		657	354	303	7.5	841	473	368	9.6	△184	△2.1
令和 2 年		681	380	301	7.9	843	483	360	9.8	△162	△1.9
令和 3 年		681	342	339	7.9	958	555	403	11.1	△277	△3.2
令和 4 年		588	303	285	6.9	977	545	432	11.4	△389	△4.5
愛知県		51,152	26,432	24,720	6.8	81,183	43,092	38,091	10.8	△30,031	△4.0
年	区分	乳児死亡数				新生児死亡数		死産数			
		総数	男	女	率	実数	率	総数	自然	人工	率
平成 30 年		0	0	0	0.0	0	0.0	11	5	6	16.0
令和元年		0	0	0	0.0	0	0.0	8	5	3	12.0
令和 2 年		1	1	0	1.5	0	0.0	12	4	8	17.3
令和 3 年		1	1	0	1.5	1	1.5	10	4	6	14.5
令和 4 年		1	1	0	1.7	0	0.0	6	2	4	10.1
愛知県		95	50	45	1.9	44	0.9	885	454	431	17.0
年	区分	周産期死亡数				婚姻件数		離婚件数			
		総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡	率	総数	率	女	率		
平成 30 年		0	0	0	0.0	449	5	172	2.0		
令和元年		2	2	0	3.0	426	5	168	1.9		
令和 2 年		0	0	0	0.0	356	4	175	2.0		
令和 3 年		0	0	0	0.0	356	4	163	1.9		
令和 4 年		0	0	0	0.0	384	4	148	1.7		
愛知県		151	121	30	2.9	33,434	4	11,061	1.5		

資料: 愛知県衛生年報

(注1) 用語の説明

乳児死亡: 生後1年未満の死亡

新生児死亡: 生後4週間未満の死亡

早期新生児死亡: 生後1週間未満の死亡

死産: 妊娠12週以後の死産

周産期死亡: 妊娠22週以降の死産+早期新生児死亡

(注2) 率算出の計算式

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡・新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{周産期死亡数}}{\text{出生+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出生(出生+死産)数}} \times 1,000$$

(4) 低体重児出生数

(単位：人)

区分 年	総数	500g 未満	500～999g	1,000～ 1,299g	1,300～ 1,499g
平成 30 年	67	1	1	1	2
令和元年	67	1	4	1	1
令和 2 年	63	0	1	0	4
令和 3 年	65	0	1	1	0
令和 4 年	60	0	2	3	0
愛知県	4,946	21	148	110	121
区分 年	1,500～ 1,799g	1,800～ 1,999g	2,000～ 2,299g	2,300～ 2,499g	(参考) 2,500g
平成 30 年	6	6	16	34	0
令和元年	6	4	19	31	1
令和 2 年	8	2	19	29	3
令和 3 年	3	7	21	32	0
令和 4 年	0	3	19	33	1
愛知県	260	337	1,315	2,634	58

資料：愛知県衛生年報

(5) 選択死因別死亡数・死亡率

(単位：人)

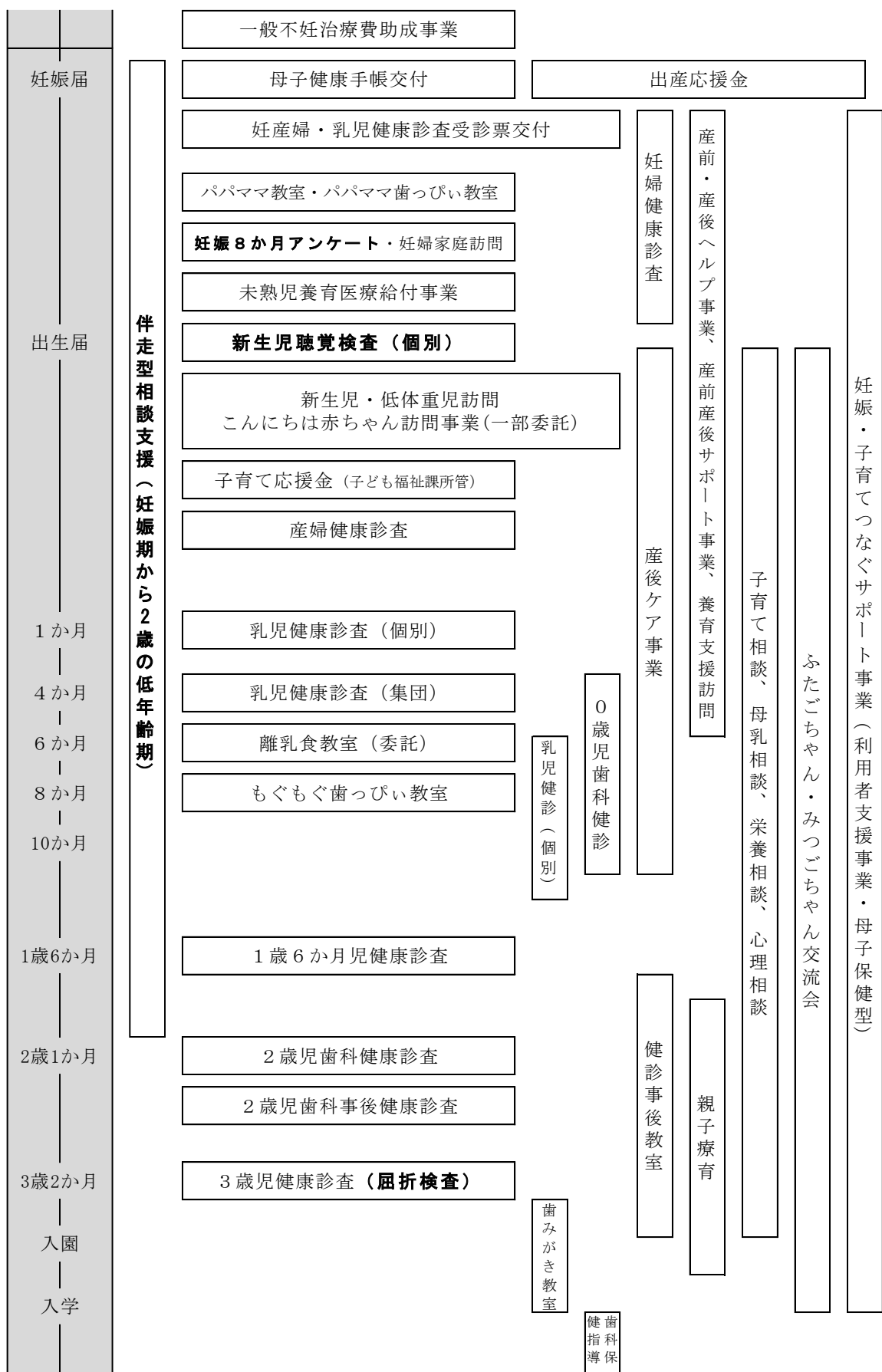
区分 年	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧性疾患	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成30年	834	953.8	0	0.0	247	282.5	4	4.6	4	4.6
令和元年	841	959.5	4	4.6	256	292.1	5	5.7	3	3.4
令和2年	843	978.8	1	1.2	237	275.2	7	8.1	2	2.3
令和3年	958	1,113.8	3	3.5	298	346.5	7	8.1	2	2.3
令和4年	977	1,139.8	1	1.2	302	352.3	4	4.7	2	2.3
愛知県	81,183	1,082.8	97	1.3	20,533	273.9	599	8.0	262	3.5
区分 年	心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成30年	102	116.6	54	61.8	9	10.3	61	69.8	11	12.6
令和元年	116	132.3	50	57.0	8	9.1	53	60.5	12	13.7
令和2年	129	149.8	52	60.4	12	13.9	32	37.2	9	10.4
令和3年	115	133.7	69	80.2	15	17.4	37	43.0	9	10.5
令和4年	89	103.8	61	71.2	17	19.8	36	42.0	10	11.7
愛知県	9,575	127.7	5,013	66.9	1,170	15.6	3,245	43.3	727	9.7
区分 年	喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成30年	1	1.1	6	6.9	16	18.3	40	45.7	29	33.2
令和元年	0	0.0	9	10.3	15	17.1	63	71.9	19	21.7
令和2年	0	0.0	14	16.3	16	18.6	58	67.3	21	24.4
令和3年	0	0.0	4	4.7	23	26.7	75	87.2	30	34.9
令和4年	0	0	19	22.2	21	24.5	102	119.0	19	22.2
愛知県	38	0.5	925	12.3	1,462	19.5	10,679	142.4	2,142	28.6
区分 年	自殺		資料：愛知県衛生年報							
	実数	率								
平成30年	13	14.9								
令和元年	10	11.4								
令和2年	23	26.7								
令和3年	19	22.1								
令和4年	8	9.3								
愛知県	1,139	15.2								

(注) 用語の説明

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

2 母子保健事業

(1) 母子保健事業体系図



2 母子保健事業

子育て世代包括支援センターにおいて、保健師・助産師・子育て経験者等による「必要な情報の提供及び相談支援事業」産科医療機関にて産後の身体のケアや育児サポートを受ける「産後ケア事業」、妊産婦の孤立感を解消し、家事・育児援助を行う「産前産後ヘルプ事業」を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施しています。

令和5年度は、全ての新生児が聴覚検査を受診できるよう、新生児聴覚検査に係る費用を公費負担し、妊産婦・乳児健康診査事業を拡充しました。3歳児健診の視力検査において、斜視や弱視を早期発見するため、屈折検査機器を使用した検査を追加しています。その他、妊産婦及び乳幼児健康診査、パパママ教室や離乳食教室等の各種教室、相談に応じ、健やかな育ち、虐待予防に努めています。

NO	事業名	実施 時期 ・回数	事業内容	令和5年度
				最終実績 (人)
1	母子健康手帳交付	随時	手帳の使い方、妊産婦・乳児健診の受診票の利用方法、保健事業の案内、妊娠届出時アンケートの実施、相談	576 (多胎7)
2	妊娠・子育て つなぐサポート事業 (利用者支援事業 母子保健型) (子育て世代包括支援センター3か所)	随時	妊娠期及び子育て期における母子保健や育児に関する相談	569
		随時	妊産婦や母子が利用できる母子保健サービス等の選定及び情報提供	569
		随時	妊産婦を対象とした支援プラン策定	186
		12回	要支援検討会	209
		3回	子育て支援連絡会議	
3	伴走型相談支援	1回	妊娠届出(母子健康手帳交付)時の面談	569
		1回	妊娠8か月頃までの面談	8
		1回	生後4か月までの面談	567
	出産応援金	1回	妊娠届出時のアンケートをもとに面談を実施した妊婦を対象に支給	586
	※子育て応援金 (子ども福祉課所管)	1回	出生届出後に面談を実施した産婦等を対象に支給	599

NO	事業名	実施 時期 ・回数	事業内容	令和5年度
				最終実績 (人)
4	パパママ教室	12回 (オンライン形式 3回含)	分娩について・沐浴・お父さんの 妊婦体験・交流会	172 (再掲:オンライン形式 6人)
	パパママ歯っぴい教室	11回	歯科医師の診察・講話	35
5	産前・産後 ヘルプ事業 (家事・育児援助)	随時	産前・産後(12週まで)に体調 不良等のため、家事又は育児を行 うことが困難な世帯に支援者が 訪問	3 (24時間)
6	産前・産後 サポート事業	随時	助産師による訪問(母乳相談等)	13 (実13)
7	産後ケア事業	随時	保健指導を必要とする産後1年 未満の母親とその乳児が一定期 間、医療機関に入院し、母体の管 理及び生活指導、乳房管理、沐浴 や授乳等の育児相談を実施 利用期間7日(上限)	9 (35日)

3 母子保健事業詳細

(1) 妊娠・子育てつなぐサポート事業（子育て世代包括支援センター）

子育て家庭や妊産婦が、子育て支援事業や教育・保育施設、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるよう、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行なうとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行うもので、本市ではこの事業を平成 29 年度から開始しています。

・利用者支援事業 《母子保健型》

保健センターでは、妊娠の届出時の面談等で得た情報を基に、保健師による、妊娠・出産・育児に関する相談への対応と支援プランを作成し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制を構築しています。

また、妊娠届出時の面談等により得た情報を基にスクリーニングした妊婦に関しては、保健センターで開催する要支援検討会（定期開催）において、支援方針及び進捗状況の協議を行っています。

ア 母子健康手帳交付

母子健康手帳を交付することで、妊婦の自覚を高め、妊婦自らが健康管理できるよう支援しています。また、同時に妊婦アンケートを行うことにより、妊婦の心身の健康状態を確認し、支援のニーズの有無を把握しています。

交付場所：甚目寺・七宝・美和保健センター

(単位：人)

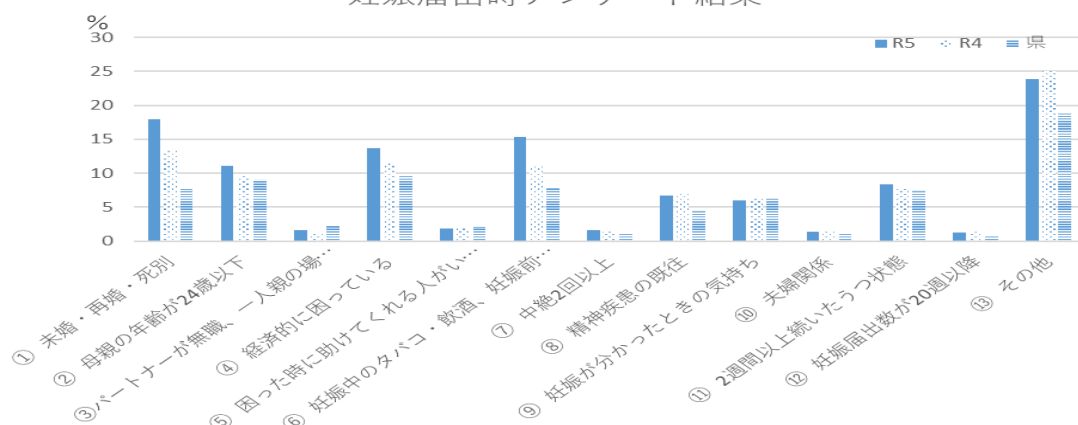
区分 年度	母子健康 手帳 交付数	妊娠 届出数	届出時の妊娠週数					
			満 11 週 以内	満 12～ 19 週	満 20～ 27 週	満 28 週 以上	分娩後	不詳
令和元年	733	725	689(95.0)	25(3.4)	4(0.6)	5(0.7)	2(0.3)	0(0.0)
令和 2 年	672	660	637(96.5)	17(2.6)	4(0.6)	0(0.0)	1(0.2)	1(0.2)
令和 3 年	623	615	593(96.4)	15(2.4)	3(0.5)	1(0.2)	1(0.2)	2(0.3)
令和 4 年	590	584	555(95.0)	20(3.4)	6(1.0)	2(0.3)	0(0.0)	1(0.2)
令和 5 年	576	569	539(94.7)	23(4.0)	5(0.8)	1(0.2)	1(0.2)	0(0.0)
区分 年度	母の年齢		就業 あり	喫煙 あり	飲酒 あり	双胎	再交付	
	20 歳未満	40 歳以上						
令和元年	4(0.6)	15(2.1)	465(64.1)	21(2.9)	4(0.6)	6(0.8)	16	
令和 2 年	6(0.9)	23(3.5)	429(65.0)	15(2.3)	1(0.2)	12(1.8)	17	
令和 3 年	3(0.5)	25(4.1)	449(73.0)	13(2.1)	2(0.3)	8(1.3)	17	
令和 4 年	4(0.7)	20(3.4)	420(71.9)	8(1.4)	0(0.0)	6(1.0)	19	
令和 5 年	7(1.2)	23(4.0)	423(74.3)	14(2.5)	0(0.0)	7(1.2)	11	

※ () 内は届出数と比較した割合 (%)

妊娠届出時のアンケート結果

項目	令和 5 年度		令和 4 年度		県 (令和 4 年度) 率 (%)
	人	率 (%)	人	率 (%)	
① 未婚・再婚・死別	102	17.9	79	13.5	7.6
② 母親の年齢が 24 歳以下	63	11.1	57	9.8	9.1
③ パートナーが無職、一人親の場合は母親が無職	9	1.6	7	1.2	2.2
④ 経済的に困っている	78	13.7	68	11.6	9.5
⑤ 困った時に助けてくれる人がいない	11	1.9	11	1.9	2.1
⑥ 妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ	87	15.3	64	11.0	7.9
⑦ 中絶 2 回以上	9	1.6	8	1.4	1.1
⑧ 精神疾患の既往	38	6.7	42	7.2	4.6
⑨ 妊娠が分かったときの気持ち	34	6.0	38	6.5	6.5
⑩ 夫婦関係	8	1.4	8	1.4	1.2
⑪ 2 週間以上続いたうつ状態	48	8.4	45	7.7	7.4
⑫ 妊娠届出数が 20 週以降	7	1.2	8	1.4	0.7
⑬ その他	136	23.9	146	25.0	19
妊娠届出数	569		584		

妊娠届出時アンケート結果



イ 要支援検討会・ケース検討会 検討数

(単位：人)

区分 年度	検討会 (回)	再掲)ケ ース検討 会 (人)	妊娠 届出数 (件)	検討数		検討結果 (件)				
				新規	継続 者	ハイリスク妊婦 レベル 0	要支援妊婦			特定妊婦 レベル 4
							レベル 1	レベル 2	レベル 3	
令和 2 年	16	4 (9)	660	190 (28.8)	30	25 (3.8)	22 (3.3)	133 (20.2)	0 (0.0)	7 (1.1)
令和 3 年	16	4 (4)	615	159 (25.9)	8	16 (2.6)	13 (2.1)	120 (19.5)	0 (0.0)	8 (1.3)
令和 4 年	15	3 (4)	584	206 (35.3)	7	8 (1.4)	13 (2.2)	167 (28.6)	3 (0.5)	11 (1.9)
令和 5 年	15	3 (3)	569	204 (35.9)	12	19 (3.3)	9 (1.6)	156 (27.4)	6 (1.0)	11 (1.9)

※参加機関：保健センター、子育てコンシェルジュ、家庭児童相談員

※ () 内は妊娠届出数との割合 (%)

※妊娠届出数：当該年度 4 月から翌年 3 月まで。検討会開催月：当該年度 5 月から翌年 4 月まで。

(2) 伴走型相談支援

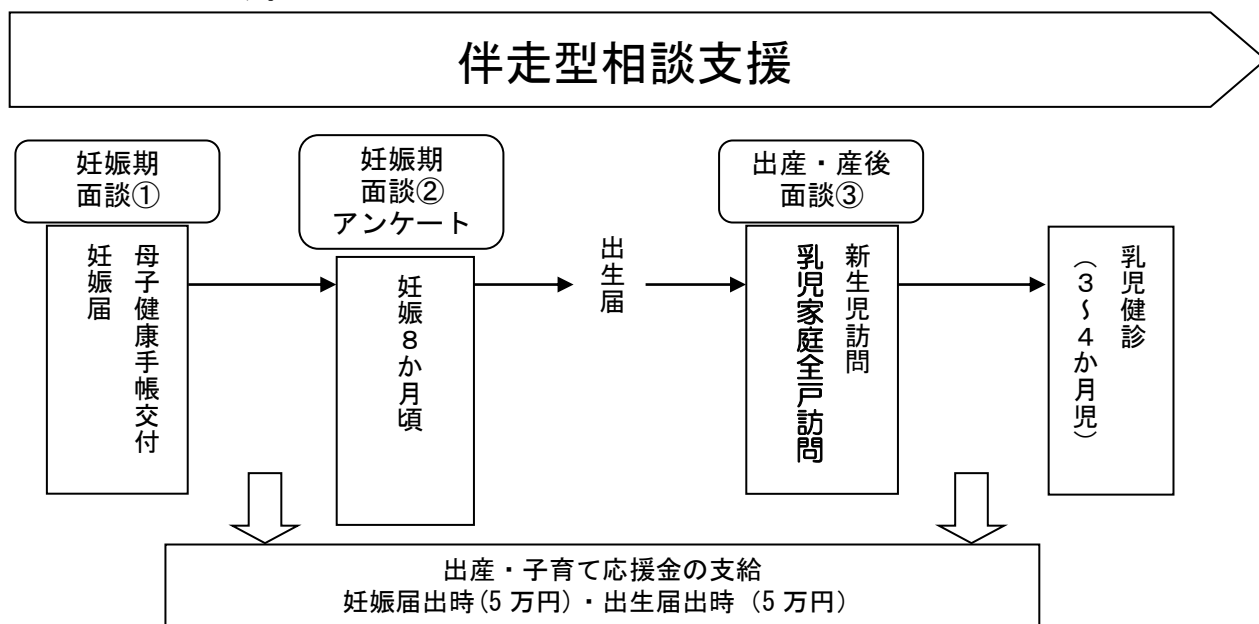
※伴走型相談支援とは

孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少なくないことから、すべての妊婦・子育て家庭にアンケート及び面談により、相談に応じ、必要な情報提供を行い、サービスにつなぐ支援を行う事業です。

保健センターでは、妊娠届出時の面談と乳児家庭訪問での面談を実施しており、支援の必要な方には、継続的にフォローしています。令和5年1月1日からは、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業が実施されることとなり、妊娠8か月頃にもアンケートを送付し、面談を希望される方には面談を実施しています。

また、妊娠届出時と生後4か月頃までに面談を受けると、あま市出産・子育て応援金支給事業実施要領（あま市告示第168号）の規定に基づき、出産・子育て応援金の支給が追加されました。

妊婦や0歳から2歳までの低年齢期の子育て家庭に対し、伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体として実施し、妊婦・子育て家庭に寄り添うことで、必要な支援サービスの利用につなげることができ、より安心して出産・子育てができる環境を整備することができています。



※出産・子育て応援金

令和5年1月から妊娠届出時のアンケートをもとに面談を実施した妊婦を対象に出産応援金を健康推進課所管で支給しています。また、出生届出後に面談を実施した産婦等を対象に子育て応援金を子ども福祉課所管で支給しています。

区分 年度	出産応援金支給者数（人）	子育て応援金支給者（人）
令和4年	910（遡及分311、R5.1～妊娠届出者148）	957（遡及分905、R5.1～出生届出者52）
令和5年	586	599（出生届587、遡及12）

(3) 産前産後の支援事業

ア 産前・産後ヘルプ事業

平成 30 年度から NPO 法人ママ・ぷらすに委託し、日中に家族等から支援を受けることができず、妊娠・出産による体調不良等により家事または育児について援助が必要な妊娠中または産後 12 週以内、ただし、多胎児の場合は産後 24 週以内の産婦に対し、育児不安や負担を軽減するため、支援者が自宅を訪問し家事や育児の援助を行っています。

区分 年度	利用人数(人)	利用時間	備考
令和元年	6	15	研修会
令和 2 年	0	0	
令和 3 年	9	116	
令和 4 年	5	57	
令和 5 年	3	24	

イ 産前・産後サポート事業

平成 30 年度から助産師が妊産婦の妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、家庭訪問により相談を行なっています。

区分 年度	実人数(人)	延人数(人)
令和元年	22	22
令和 2 年	16	16
令和 3 年	16	16
令和 4 年	20	21
令和 5 年	13	13

ウ 産後ケア事業

平成 30 年度から 5 か所の産科医療機関への委託により宿泊型・デイスサービス型の区分で実施しています。利用者負担は、宿泊型が 1 泊あたり 7,000 円、デイスサービス型が 1 日あたり 3,500 円であり、生活保護世帯又は市町村民税が非課税である世帯は無料となります。

区分 年度	委託医療機関数		申請者 (人)	利用実績(件数)	
		医療機関名		(日数)	利用区分(人数)
令和元年	2	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック	5	5 (31 日)	3 泊 4 日(1)、5 泊 6 日(1)、 6 泊 7 日(3)
令和 2 年	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	8	4 (20 日)	2 泊 3 日(1)、3 泊 4 日(1)、 5 泊 6 日(1)、6 泊 7 日(1)
令和 3 年	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	6	6 (33 日)	1 泊 2 日(1)、3 泊 4 日(1)、 5 泊 6 日(1)、6 泊 7 日(3)
令和 4 年	4	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科	2	2 (5 日)	1 泊 2 日(1)、2 泊 3 日(1)
令和 5 年	5	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科 日本赤十字医療センター名 古屋第一病院	9	9 (35 日)	1 泊 2 日(2)、2 泊 3 日(2) 4 泊 5 日(2)、6 泊 7 日(2) デイ 1 日(1)

(4) 妊産婦・乳児健康診査（医療機関委託）

妊産婦及び乳児の健康診査並びに妊婦のHBs抗原検査及び梅毒血清反応検査（STS）に要した費用を助成することで、妊産婦及び乳児の健康の保持・増進、異常の早期発見・早期治療並びにB型肝炎の母子感染を防止し、結果をもとに医療機関と連携しています。

令和5年4月1日出生時から新生児聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため新生児聴覚検査の助成を開始しています。

ア 妊産婦健診

（単位：人）

区分 回数	受診者数	県外受診（再掲）	異常なし	所見あり	HBs抗体（+）
第1回	567	7	534	33	0
第2回	538	7	521	17	
第3回	529	7	517	12	
第4回	543	9	523	20	
第5回	552	9	525	27	
第6回	555	9	514	41	
第7回	546	12	505	41	
第8回	577	9	442	135	
第9回	521	25	485	36	
第10回	557	35	501	56	
第11回	476	36	453	23	
第12回	527	33	429	98	
第13回	375	32	364	11	
第14回	219	22	213	6	
子宮頸がん	540	6	532	8	
産後	580	38	552	28	

イ 乳児健診

（単位：人）

区分 月齢	受診者数	受 診 結 果						
		異常なし	既医療	要観察	要医療	(再掲)要医療		要精密検査
						精神面	身体面	
1～2 か月	588	561	5	10	9	0	9	3
3～5 か月	4	3	0	1	0	0	0	0
6～8 か月	64	59	0	5	0	0	0	0
9～12 か月	365	321	2	41	1	0	1	0

ウ 新生児聴覚検査

(単位：人)

受診者数	検査方法		検査結果					
	ABR	OAE	パス	リファアー				
481	465	16	472	9				
確認検査		確認検査結果		精密検査		精密検査結果		
受診者	未受診者	パス	リファアー	受診者	未受診者	正常	異常	不明
9	0	7	2	2	0	0	2	0

エ 年度別受診者数（全体）

(単位：人)

回数 年度	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回
令和元年	722	693	690	682	673	659	628	687	606	644
令和 2 年	656	649	648	663	662	640	633	674	640	662
令和 3 年	603	608	607	612	611	611	613	652	619	654
令和 4 年	582	578	567	573	563	555	528	553	536	547
令和 5 年	567	538	529	543	552	555	546	577	521	557
回数 年度	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	子宮頸 がん	乳児健診		産婦	新生児 聴覚検査	
						第 1 回	第 2 回			
令和元年	547	630	410	265	686	676	418	668		
令和 2 年	572	630	437	273	627	657	466	660		
令和 3 年	567	624	424	285	577	683	447	673		
令和 4 年	474	521	373	223	558	594	440	591		
令和 5 年	476	527	375	219	540	588	433	580	481	

オ 年度別受診者数（県外助成）（再掲）

(単位：人)

回数 年度	申請 者数	助成 枚数 (枚)	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
令和元年	70	473	9	12	13	12	12	12	18	16	33
令和 2 年	64	464	9	10	10	12	16	16	19	18	34
令和 3 年	53	329	4	6	4	4	9	10	15	10	30
令和 4 年	47	279	2	3	4	1	4	5	9	5	25
令和 5 年	53	364	7	7	7	9	9	9	12	9	25
回数 年度	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	子宮 頸がん	乳児健診		産婦	新生児 聴覚検査	
							第 1 回	第 2 回			
令和元年	52	48	51	37	26	6	57	0	59		
令和 2 年	52	46	50	40	28	8	47	1	48		
令和 3 年	35	35	34	27	22	2	40	0	42		
令和 4 年	37	30	36	30	19	2	30	1	36		
令和 5 年	35	36	33	32	22	6	38	1	38	29	

カ 年度別受診率

(%)

回数 年度	対象 者数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
令和元年	695	103.9	99.7	99.3	98.1	96.8	94.8	90.4	98.8	87.2
令和2年	693	94.7	93.7	93.5	95.7	95.5	92.4	91.3	97.3	92.4
令和3年	638	94.5	95.3	95.1	95.9	95.8	95.8	96.1	102.2	97.0
令和4年	600	97.0	96.3	94.5	95.5	93.8	92.5	88.0	92.2	89.3
令和5年	577	98.3	93.2	91.7	94.1	95.7	96.2	94.6	100.0	90.3
回数 年度	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	子宮 頸がん	産婦			
令和元年	92.7	78.7	90.6	59.0	38.1	98.7	96.1			
令和2年	95.5	82.5	90.9	63.1	39.4	90.5	95.2			
令和3年	102.5	88.9	97.8	66.5	44.7	90.4	105.5			
令和4年	91.2	79.0	86.8	62.2	37.2	93.0	98.5			
令和5年	96.5	82.5	91.3	65.0	38.0	93.6	100.5			

*対象者数：(前年度の妊娠届出数+当該年度の妊娠届出数) / 2

種目 年度	乳児健診第1回		乳児健診第2回		新生児聴覚検査	
	対象者数	受診率	対象者数	受診率	対象者数	受診率
令和元年	685	98.7%	755	55.4%	—	—
令和2年	695	94.5%	712	65.4%	—	—
令和3年	670	101.9%	716	62.4%	—	—
令和4年	611	97.2%	695	63.3%	—	—
令和5年	577	101.9%	656	66.0%	569	84.5

*対象者数：第1回 当該年度10月1日現在の0歳児人口

第2回 当該年度10月1日現在の1歳児人口

新生児聴覚検査 当該年3月1日～次年2月末日生まれ

令和5年度：令和5年4月1日～令和6年2月29日生まれ

(5) 乳幼児健康診査

乳児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診（歯科保健事業に記載）及び3歳児健診を実施することにより、乳幼児の健全な発育の確認及び育児支援を行っています。

ア 乳児健康診査

生後3～4か月児を対象に発育・栄養状態の確認、先天的な病気の有無・早期発見に努めるとともに、育児に対する不安や悩みの解消を図ります。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	対象 者数	受診 者数 受診率	一 般 健 康 診 査						
				受 診 結 果						
				異 常 な し	既 医 療	要 観 察	要 医 療	(再掲) 要医療		要精密 検査
								精神面	身体面	
令和元年	43	633	619 97.8%	467 (75.4)	43 (6.9)	83 (13.4)	18 (2.9)	0 (0.0)	18 (2.9)	8 (1.3)
令和2年	38	754	719 95.4%	551 (76.6)	65 (9.0)	85 (11.8)	15 (2.1)	0 (0.0)	15 (2.1)	3 (0.4)
令和3年	38	692	681 98.4%	519 (76.2)	59 (8.7)	82 (12.0)	15 (2.2)	0 (0.0)	15 (2.2)	6 (0.9)
令和4年	32	618	616 99.7%	461 (74.8)	51 (8.3)	71 (11.5)	14 (2.3)	0 (0.0)	14 (2.3)	19 (3.1)
令和5年	29	573	574 100.1%	410 (71.4)	43 (7.5)	73 (12.7)	10 (1.7)	0 (0.0)	10 (1.7)	38 (6.6)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異 常 な し	要 観 察	要 医 療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
令和元年	8	4	3	1	0	1
令和2年	0	0	0	0	0	0
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	12	10	2	0	0	0
令和5年	28	17	10	1	0	1

イ 1歳6か月児健康診査

運動機能・精神発達の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、う蝕の予防、幼児の栄養及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療 精神面	身体面	要精密 検査
令和元年	32	697	685 98.3%	624 (91.1)	16 (2.3)	34 (5.0)	6 (0.9)	0 (0.0)	6 (0.9)	5 (0.7)
令和2年	29	718	697 97.1%	612 (87.8)	25 (3.6)	46 (6.6)	8 (1.1)	0 (0.0)	8 (1.1)	6 (0.9)
令和3年	33	789	790 100.1%	705 (89.2)	37 (4.7)	31 (3.9)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	7 (0.9)
令和4年	30	696	679 97.6%	589 (86.7)	37 (5.4)	29 (4.3)	17 (2.5)	0 (0.0)	17 (2.5)	7 (1.0)
令和5年	28	671	664 99.0%	577 (86.9)	24 (3.6)	38 (5.7)	12 (1.8)	0 (0.0)	12 (1.8)	13 (2.0)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
令和元年	2	0	1	1	0	1
令和2年	3	1	0	2	0	2
令和3年	3	0	2	1	0	1
令和4年	3	0	1	2	0	2
令和5年	8	2	4	2	0	2

ウ 3歳児健康診査

視覚・聴覚・運動・発達等の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、う蝕の予防、発育・栄養・生活習慣及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療 精神面	身体面	要精密 検査
令和元年	32	704	679 96.4%	486 (71.6)	17 (2.5)	104 (15.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	2 (0.3)	70 (10.3)
令和2年	31	717	698 97.4%	524 (75.1)	9 (1.3)	85 (12.2)	5 (0.7)	0 (0.0)	5 (0.7)	75 (10.7)
令和3年	33	780	761 97.6%	631 (82.9)	38 (5.0)	36 (4.7)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	46 (6.0)
令和4年	31	726	719 99.0%	624 (86.8)	22 (3.1)	18 (2.5)	3 (0.4)	0 (0.0)	3 (0.4)	52 (7.2)
令和5年	30	713	714 100.1%	566 (79.3)	27 (3.8)	20 (2.8)	7 (1.0)	1 (0.1)	7 (1.0)	94 (13.2)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
令和元年	23	12	5	6	1	5
令和2年	16	4	11	1	0	1
令和3年	3	3	0	0	0	0
令和4年	10	8	0	2	0	2
令和5年	60	8	34	18	0	18

令和5年度は、屈折検査機器の導入により受診者数が増えています。

・視力検査（屈折検査）結果

区分 年度	要 精 検 者 数	一次検診等結果					精検結果		
		①	②	③	④	⑤	異常なし	異常あり	診断名
令和 5 年	75	0	0	0	9	66	6	49	弱視、乱視、遠視、不同視

- ① 異常の疑いあり（視覚アンケート項目 1～10 でいずれか 1 項目にでも「はい」と回答）
 ② 異常の疑いあり（視力検査項目 1、2 の両方とも「はい」と回答し、視力検査項目 3、4、5 のいずれかに「いいえ」と答えたもの）
 ③ 再検査（視力検査項目 1、2 のいずれか 1 項目に「いいえ」と回答）
 ④ 異常の疑いあり（視力検査項目 1、2 の両方とも「はい」と回答し、視力検査項目 3、4、5 のいずれかに「いいえ」と答えたもの）
 ⑤ 異常の疑いあり（測定機器のスクリーニング基準を満たすもの）

エ 虐待予防

乳幼児健診は、すべてのお子さんを対象とする事業であり、受診前には保護者に健診アンケートを記入していただき、育児に対しての現状を把握し、相談に応じています。

健診未受診児は子どもの虐待につながるリスクが高く、産後うつ状態、閉じこもり等の育児上の問題を抱える保護者や発達の遅れを持つ乳幼児が潜在していることが考えられます。また、健診アンケートから、月齢が上がるほど、しつけのし過ぎ、感情的に叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったことがある方が増えていることがわかります。

未受診者に対して、電話や訪問等で状況確認と受診勧奨を行い、必要に応じて子ども福祉課や保育園等に連絡を取り、児の安全確認を行うことにより、全数把握に努めています。

令和 5 年度健診アンケート

問 この数か月の間にご家庭で 次のことがありましたか(複数回答)	乳児健診 (生後 3 ～ 4 か月)			1 歳 6 か月児健診			3 歳児健診		
	あま市		県 率 (%)	あま市		県 率 (%)	あま市		県 率 (%)
	数	率 (%)		数	率 (%)		数	率 (%)	
しつけのし過ぎがあった	3	0.5	2.7	9	1.4	1.5	24	3.4	5.6
感情的に叩いた	5	0.9	2.9	19	2.9	3.2	42	5.9	7.1
乳幼児だけを家に残して外出した	2	0.3	3.1	2	0.3	0.6	4	0.6	2.7
長時間食事を与えなかった	6	1.0	2.4	0	0.0	0	0	0.0	2.2
感情的な言葉で怒鳴った	25	4.4	6	111	16.7	15.1	193	27.0	28.6
子どもの口をふさいだ	2	0.3	2.5	2	0.3	0.3			
子どもを激しく揺さぶった	0	0.0	2.5	0	0.0	0.1			
該当なし	531	92.5	91.3	503	75.8	80.3	472	66.1	67.9

※県率は R4 年度実績

(6) 健康教室・健康教育

離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室等の各種教室を行い、乳幼児の発育支援、保護者に対する助言を行っています。離乳食教室は、保護者が講話に集中できるよう託児を用意しています。また、令和5年度からマタニティ教室の名称をパパママ教室に変え、父親を対象に妊婦体験、沐浴・おむつ交換等の体験及び、令和5年度から実際の子育て中の親子との交流のため、子育て支援センターとの交流会を内容に加え、出産後の赤ちゃんのイメージをつけ、育児への不安を解消し、前向きに子育てができるよう取り組んでいます。

ア パパママ教室（マタニティ教室）（単位：人）

区分 年度	一 般 編					栄 養 編				
	回数 (回)	参加 者数	再掲) 初産	再掲) 経産	再掲) 父親	回数 (回)	参加 者数	再掲) 初産	再掲) 経産	再掲) 父親
令和元年	11	214	101	13	100	8	50	34	4	12
令和2年	8	121	60	3	58	5	19	13	2	4
令和3年	9(1)	119	61	6	52	4	8	7	0	1
令和4年	11(1)	171	88	7	76					
令和5年	12(4)	172	74	11	81					

※令和3年度からウェブでの教室を実施。（ ）内はウェブでの実施回数を再掲

イ 離乳食教室（単位：人）

区分 年度	対象者数	回数 (回)	参加者数	参加率 (%)	再掲) 健診 事後指導
令和元年	859	22	225	26.2	3
令和2年	730	13	82	11.2	0
令和3年	509	10	73	14.3	1
令和4年	700	20	135	19.3	0
令和5年	736	20	124	16.8	0

※令和4年度から NPO 法人ママ・ぷらすに委託し実施

ウ ふたごちゃん・みつごちゃん交流会（単位：人）

区分 年度	回数 (回)	参加者数	再掲) 妊婦	再掲) 産婦	再掲) 父親
令和元年	3	25	4	21	0
令和2年	3	23	4	19	0
令和3年	3	21	4	17	0
令和4年	3	19	2	16	1
令和5年	3	12	0	12	0

(7) 相談事業

乳幼児の発育を支援し、保護者に対して育児に関する不安を軽減できるよう、子育て相談、心理相談等を行っています。

ア 子育て相談

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	参加者内訳					個別相談内訳				再掲) 健診事後指導			
		乳児	再掲) 初	幼児	再掲) 初	計	保健	栄養	歯科	母乳	乳児		幼児	
											初	延	初	延
令和元年	44	1,029	348	1,031	187	2,060	590	323	81	170	124	144	52	81
令和2年	32	469	212	393	144	862	226	141	64	91	53	59	5	5
令和3年	43	628	272	460	129	1,088	287	206	51	126	97	115	25	39
令和4年	48	847	298	617	124	1,464	466	227	71	122	128	155	13	20
令和5年	48	755	263	559	148	1,314	315	188	42	108	94	107	4	4

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止（中止したが、実施予定日に子育て相談希望者が来所した場合は相談を実施したため、実施回数・参加者に計上）

イ 心理相談（随時）

(単位：人)

区分 年度	相談対象者内訳							
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	合計
令和元年	0	3	10	11	3	3	2	32
令和2年	0	7	11	5	1	0	1	25
令和3年	0	10	13	18	2	7	3	53
令和4年	0	4	11	13	3	4	1	36
令和5年	0	3	12	15	7	1	0	38

ウ 事後教室（まっっこ教室、つくしんぼ教室、たんぽぽ教室）

(単位：人)

区分 年度	まっっこ教室				つくしんぼ教室				たんぽぽ教室			
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ
令和元年	14	22	82	5	16	19	94	2	27	55	182	10
令和2年	12	19	49	3	13	33	77	3	20	53	104	12
令和3年	9	16	48	2	19	38	94	10	19	42	99	9
令和4年	12	21	87	4	23	35	116	3	24	46	169	3
令和5年	12	22	65	5	24	40	125	5	24	49	180	14
区分 年度	合計											
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ								
令和元年	57	96	358	17								
令和2年	45	105	230	18								
令和3年	47	96	241	21								
令和4年	59	102	372	10								
令和5年	60	111	370	24								

(8) 訪問事業

全ての乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結び付けます。

また、養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、養育に関する指導、助言を行うことにより、適切な養育の実施を確保します。

ア 区分別訪問

(単位：人)

年度	区分	長 期 療養児	乳 児			幼児	妊婦	産婦
			新生児	未熟児	その他			
令和元年	実人数	0	69	56	563	152	13	652
	延人数	0	73	56	604	167	15	658
令和2年	実人数	0	39	57	564	130	18	621
	延人数	0	41	60	591	145	20	627
令和3年	実人数	1	52	30	650	185	16	684
	延人数	1	55	32	670	220	21	694
令和4年	実人数	0	34	33	540	134	10	572
	延人数	0	35	34	599	185	15	586
令和5年	実人数	0	40	41	513	43	10	570
	延人数	0	40	47	543	58	23	589

※資料：地域保健事業報告より

イ 乳児家庭全戸訪問（再掲）

年度	区分	対象者数	訪問件数	再掲) 委託
令和元年		699	650	－
令和2年		695	621	－
令和3年		684	684	－
令和4年		587	562	91
令和5年		598	521	72

※令和4年度から乳児家庭全戸訪問の一部をNPO法人ママ・ぷらすに委託

※資料：愛知県地域子ども・子育て支援事業費補助金より

ウ 養育支援訪問（再掲）

年度	区分	訪問 実件数	延件数	延件数再掲	
				専門的相談	育児・家事援助
令和元年		42	74	74	
令和2年		35	35	35	
令和3年		43	77	77	
令和4年		36	125	96	29
令和5年		14	55	43	12

※資料：愛知県地域子ども・子育て支援事業費補助金より

(9) 一般不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦への一般不妊治療に要する費用の助成することで、経済的な負担の軽減を図り、少子化対策の充実を図ります。令和元年度に助成金額を4万5千円から5万円に増額し、令和3年度以降は所得制限も撤廃されました。

また、令和4年4月から不妊治療が保険適用となりましたが、市としては、保険適用となっても経済的な負担があると考え、一般不妊治療助成事業を引き続き実施しています。

(単位：人)

区分 年度	申請者数	助成件数	母子健康 手帳交付数
令和元年	48	46	12
令和2年	57	57	22
令和3年	74	74	15
令和4年	43	42	16
令和5年	36	35	4

(10) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児(出生児の体重が2,000グラム以下等)が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を公費により負担する制度となります。

・年度別給付件数

区分 年度	申請者数 (人)	再掲) 双子	給付実件数 (人)	給付延件数 (人)
令和元年	31	0組	23	58
令和2年	27	1組	29	81
令和3年	22	3組	23	45
令和4年	19	1組	19	36
令和5年	16	2組	15	41

・年度別体重別給付件数

(単位：人)

区分 年度	1,000g 以下	1,000g 以上 1,500g 以下	1,501g 以上 1,800g 以下	1,801g 以上 2,000g 以下	2,001g 以上 2,300g 以下	2,301g 以上 2,500g 以下	2,501g 以上
令和元年	5	2	5	5	0	0	4
令和2年	1	4	9	0	1	1	8
令和3年	0	1	3	7	3	0	7
令和4年	4	5	0	1	1	0	6
令和5年	1	2	2	2	1	0	4

※新規給付者のみ

【参考】低出生体重児届出

区分 年度	届出数 (件)
令和元年	54
令和2年	49
令和3年	40
令和4年	47
令和5年	46

(11) 電子カルテ導入

乳幼児訪問、乳幼児健診及び予防接種の記録などを紙カルテに記載していましたが、電子カルテの拡張機能の1つである文書キャビネットを導入、健診等のアンケートなどを CSV データにでき、電子的な記録が可能となりました。また、それらの記録が各保健センター間で閲覧することができ、市民からの相談等があった場合、速やかに対応ができるようになりました。

3 成人保健事業

1 成人保健事業

市民の健康水準を高めていくには、若い世代から生活習慣病（脳血管疾患、心疾患、がん、糖尿病など）を予防し、健康管理に対する支援や健康診査等の保健事業による健康づくり支援が必要となります。

本市では、がん検診や30・35歳健診等の健康診査を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげ、個別の健康相談や教室を設けることで、健康管理の推進を行いました。

NO	事業名		実施時期・回数	対象	事業内容	令和5年度
						最終実績 (人)
1	健康手帳交付		随時	40歳以上	希望者に随時配付	8
2	胃がん検診	個別	6～10月	50歳以上で前年度内視鏡未受診者	胃内視鏡検査	773
		集団	28回	40歳以上で前年度内視鏡未受診者	胃部レントゲン直接撮影	1,370
						1,016
3	大腸がん検診	個別	6～10月	40歳以上	便潜血検査	3,811
		集団	28回			1,423
	がん検診推進事業（クーポン）	集団	5～2月	41歳	便潜血検査	65
4	肺がん検診	個別	6～10月	40歳以上	胸部レントゲン直接撮影、喀痰検査【50歳以上の喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙指数）が600以上の方で希望者】	4,282
		集団	28回			1,328
5	前立腺がん検診	個別	6～10月	50歳以上男性	PSA検査（血液検査）	1,746
		集団	28回			572
6	子宮がん検診	個別	6～10月	20歳以上女性で前年度子宮がん検診未受診者	視診、頸部または体部細胞診検査（6か月以内に不正出血、月経異常、褐色のおりものがあつた方で希望者）	1,016
		集団	18回		視診、頸部細胞診検査	735
	がん検診推進事業（クーポン）	個別	6～2月	21歳女性	視診、頸部細胞診検査	32
		集団	18回			2

NO	事業名		実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和5年度
						最終実績 (人)
7	乳がん検診	個別	6～10月	30歳以上39歳以下女性	視触診、超音波検査	372
				40歳以上女性で前年度乳がん(マンモ)検診未受診者	マンモグラフィ検査	685
		集団	27回		マンモグラフィ検査	688
	がん検診推進事業(クーポン)	個別	6～2月	41歳女性	マンモグラフィ検査	85
		集団	27回			26
8	肝炎ウイルス検査	個別	6～10月	41歳以上70歳以下で過去に肝炎検査を受けたことがない方	B型・C型肝炎ウイルス検査(血液検査)	20
		集団	28回			16
	健康増進事業(クーポン)	集団	28回	40歳	B型・C型肝炎ウイルス検査(血液検査)	65
9	30・35歳健診	集団	3回	30・35歳	身体計測、血圧、血液検査	126
10	すこやか健診	集団	3回	40歳以上生活保護受給者	身体計測、血圧、血液検査、心電図	6
11	骨粗しょう症検診	集団	3回	20歳以上70歳以下の女性で前年度骨粗しょう症検診未受診者	骨粗しょう症の早期発見と予防 踵骨(かかと)の超音波検査	101
13	健康相談		随時	希望者	健康に関する相談	349
14	栄養相談		3回	希望者	個別の栄養相談	3
17	いきいき体操		144回	希望者	健康増進・体力向上のための体操	1,182
18	乳がん自己検診法指導		27回	乳がん検診受診者	乳がん検診受診者への自己検診法指導	714

NO	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和5年度
					最終実績 (人)
19	骨粗しょう症栄養指導	3回	骨粗しょう症 検診受診者	骨粗しょう症検診の結果、要指導、要精検になった方への栄養指導	26
12	がん患者アピアランスケア支援事業	随時	がん治療に伴う補整具の購入	がん患者の治療による脱毛や乳房の形状の変化に対するウィッグや、乳房補整具の購入費用を補助	ウィッグ 32 乳房補整具 14
20	家庭訪問	随時	希望者及び関係機関から連絡	疾病の治療や自立に向けての相談、支援	16

2 成人保健事業詳細

(1) 健康手帳交付

健康手帳を交付することで、健康診査の記録や健康の保持のために必要な事項を記録し、自らが健康管理できるよう支援します。

交付場所：七宝・美和・甚目寺保健センター、がん検診、健康相談、各種教室

(単位：人)

区分 年度	40～74 歳		75 歳以上		計	
	男	女	男	女	男	女
令和元年	1	6	2	6	3	12
令和2年	2	2	2	2	4	4
令和3年	0	2	0	0	0	2
令和4年	5	5	2	4	7	9
令和5年	0	4	2	2	2	6

※新規交付のみ

(2) 健康診査

成人の健康診査として、がん検診や肝炎ウイルス検査、30・35 歳健診などを実施し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげ、市民の健康向上や健康管理の推進を行います。

ア がん検診

がん検診を実施することにより、がんの早期発見、早期治療につなげます。

(ア) 各種がん検診年度別受診状況

(単位：人)

区分 年度	胃がん		子宮がん		乳がん	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
令和元年	4,109	7.7	2,003	5.5	1,793	6.6
令和2年	2,611	4.9	1,147	3.1	780	2.8
令和3年	2,759	5.2	1,505	4.2	1,193	4.4
令和4年	3,527	6.6	1,729	4.7	1,499	5.4
令和5年	3,159	5.9	1,785	4.9	1,484	5.4

区分 年度	肺がん		大腸がん		前立腺がん	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
令和元年	6,157	11.6	6,017	11.3	2,514	13.9
令和2年	4,666	8.8	4,288	8.0	1,926	10.5
令和3年	5,213	9.8	5,036	9.5	2,129	11.4
令和4年	5,815	10.8	5,495	10.2	2,382	12.5
令和5年	5,610	10.4	5,299	9.8	2,318	11.9

※子宮がん・乳がんは単年受診率

※乳がん検診は、マンモグラフィのみ

(イ) 胃がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢		対象者 数	受診者数			受診率 (%)	要精検者数			要精検 率 (%)
			X 線 検査	内視鏡 検査	合計		X 線 検査	内視鏡 検査	合計	
40～44 歳		5,568	174		174	3.1	2		2	1.1
45～49 歳		7,360	199		199	2.7	0		0	0
50～54 歳		7,664	204	67	271	3.5	6	6	12	4.4
55～59 歳		5,668	177	65	242	4.3	1	2	3	1.2
60～64 歳		4,455	190	62	252	5.7	7	1	8	3.2
65～69 歳		4,066	253	82	335	8.2	13	2	15	4.5
70 歳以上		1,9025	1,189	497	1,686	8.86	82	41	123	7.3
合 計	男	26,167	1,146	360	1,506	5.8	49	25	74	4.9
	女	27,639	1,240	413	1,653	6.0	62	27	89	5.4
	計	53,806	2,386	773	3,159	5.9	111	52	163	5.2

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者 数	精検受診者 数	精検受診率(%)	精密検査結果												未受診・未把握
				異常所見なし	胃がん	食道がん	悪性リンパ腫	その他のがん	胃・十二指腸潰瘍	胃ポリープ	粘膜下腫瘍	胃・十二指腸潰瘍癒痕	胃炎	がんの疑い又は未確定	その他	
40～44 歳	2	2	100.0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
45～49 歳	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54 歳	12	12	100.0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	5	0	2	0
55～59 歳	3	3	100.0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0
60～64 歳	8	8	100.0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0	0	0
65～69 歳	15	15	100.0	3	0	0	0	0	1	2	1	0	8	0	0	0
70 歳以上	123	116	94.3	8	2	1	0	0	5	23	3	5	51	7	11	7
合 計	男	74	69	93.2	3	1	0	0	4	13	2	2	30	4	10	5
	女	89	87	97.8	11	1	1	0	3	17	3	4	39	3	5	2
	計	163	156	95.7	14	2	1	0	7	30	5	6	69	7	15	7

(ウ) 大腸がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢			対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40～44 歳			5,568	243	4.4	8	3.3
45～49 歳			7,360	300	4.1	16	5.3
50～54 歳			7,664	376	4.9	16	4.3
55～59 歳			5,668	345	6.1	22	6.4
60～64 歳			4,455	376	8.4	21	5.6
65～69 歳			4,066	530	13.0	46	8.7
70 歳以上			19,025	3,129	16.4	283	9.0
合 計	男		26,167	2,348	9.0	235	10.0
	女		27,639	2,951	10.7	177	6.0
	計		53,806	5,299	9.8	412	7.8

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢		要精 検者 数	精 検 受 診 者	精 検 受 診 率 (%)	精密検査結果								未 受 診 ・ 未 把 握		
					異 常 な し	大 腸 が ん	ポ リ ー プ (非 腺 腫 を 含 む)	憩 室	痔 疾 患	胃 疾 患	潰 瘍 性 大 腸 炎	ク ロ ー ン 病		が ん の 疑 い 又 は 未 確 定	そ の 他
40～44 歳		8	8	100.0	3	0	1	1	3	0	0	0	0	0	
45～49 歳		16	11	68.8	2	0	3	1	2	0	0	0	2	1	5
50～54 歳		16	15	93.8	7	1	5	0	1	0	0	0	1	0	1
55～59 歳		22	21	95.5	6	1	7	1	3	0	0	0	1	2	1
60～64 歳		21	21	100.0	9	0	6	2	3	0	0	0	1	0	0
65～69 歳		46	44	95.7	11	1	23	2	3	0	1	0	2	1	2
70 歳以上		283	253	89.4	43	11	120	39	26	0	0	0	6	8	30
合計	男	235	209	88.9	38	10	100	26	23	0	0	0	7	5	26
	女	177	164	92.7	43	4	65	20	18	0	1	0	6	7	13
	計	412	373	90.5	81	14	165	46	41	0	1	0	13	12	39

(エ) 肺がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢		対象者数	受診者数	再掲) 喀痰細胞 診検査	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40～44 歳		5,568	235	0	4.2	4	1.7
45～49 歳		7,360	278	0	3.8	3	1.1
50～54 歳		7,664	337	7	4.4	4	1.2
55～59 歳		5,668	314	6	5.5	6	1.9
60～64 歳		4,455	352	2	7.9	2	0.6
65～69 歳		4,066	511	6	12.6	6	1.2
70 歳以上		19,025	3,583	39	18.8	92	2.6
合 計	男	26,167	2,599	54	9.9	68	2.6
	女	27,639	3,011	6	10.9	49	1.6
	計	53,806	5,610	60	10.4	117	2.1

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢		要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	精密検査結果							未受診・未把握	
					異常所見なし	肺がん	良性肺腫瘍	肺結核			がんの疑い又は未確定		その他(転移性肺がんを含む)
								活動	不活動	治癒			
40～44 歳		4	3	75.0	2	0	0	0	0	0	0	1	1
45～49 歳		3	3	100.0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54 歳		4	3	75.0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
55～59 歳		6	6	100.0	4	0	0	0	0	0	1	1	0
60～64 歳		2	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69 歳		6	6	100.0	4	0	0	0	0	0	1	1	0
70 歳以上		92	89	96.7	31	3	7	0	0	1	11	36	3
合計	男	68	64	94.1	28	2	4	0	0	1	7	22	4
	女	49	48	98.0	18	1	3	0	0	0	7	19	1
	計	117	112	95.7	46	3	7	0	0	1	14	41	5

(オ) 前立腺がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
50～54 歳	4,057	154	3.8	2	1.3
55～59 歳	2,996	169	5.6	3	1.8
60～64 歳	2,244	178	7.9	10	5.6
65～69 歳	1,950	235	12.1	11	4.7
70 歳以上	8,232	1,582	19.2	122	7.7
合 計	19,479	2,318	11.9	148	6.4

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率 (%)	精密検査結果					受診拒否	未把握
				異常なし	前立腺がん	前立腺肥大症	がん疑い	その他の疾患		
50～54 歳	2	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0
55～59 歳	3	3	100.0	1	0	1	1	0	0	0
60～64 歳	10	7	100.0	3	0	2	2	0	3	0
65～69 歳	11	10	90.9	2	4	3	1	0	1	0
70 歳以上	122	109	89.3	25	17	20	46	1	10	3
合 計	148	131	88.5	33	21	26	50	1	14	3

(カ) 子宮がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者 数	受診 者数	受診率 (%)	一次検査結果				要精検 率 (%)
				異常 なし	要精密 検査	要再 検査	その他 疾患	
20～24 歳	2,294	82	3.6	72	5	0	5	6.10
25～29 歳	2,190	114	5.2	105	3	0	6	2.63
30～34 歳	2,193	162	7.4	145	5	0	12	3.09
35～39 歳	2,434	211	8.7	187	7	0	16	3.32
40～44 歳	2,700	157	5.8	132	3	1	21	1.91
45～49 歳	3,540	205	5.8	176	4	1	25	1.95
50～54 歳	3,607	223	6.2	182	3	0	37	1.35
55～59 歳	2,672	153	5.7	138	3	1	12	1.96
60～64 歳	2,211	121	5.5	102	2	0	17	1.65
65～69 歳	2,116	93	4.4	79	1	0	13	1.08
70 歳以上	10,793	264	2.4	242	2	0	20	0.76
合 計	36,750	1,785	4.9	1,560	38	3	184	2.13

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精 検者 数	精 検受 診者	精 検受 診率 (%)	精密検査結果						未 受診・ 未把握
				異 常 所 見 な し	上 皮 内 病 変	頸 部 が ん	体 部 が ん	そ の 他 疾 患	が ん の 疑 い 又 は 未 確 定	
20～24 歳	5	3	60	1	1	0	0	1	0	2
25～29 歳	3	3	100	1	2	0	0	0	0	0
30～34 歳	5	4	80	2	2	0	0	0	0	1
35～39 歳	7	5	66.7	3	2	0	0	0	0	2
40～44 歳	3	3	100	0	2	0	0	1	0	0
45～49 歳	4	4	100	4	0	0	0	0	0	0
50～54 歳	3	3	100	1	2	0	0	0	0	0
55～59 歳	3	2	66.7	2	0	0	0	0	0	1
60～64 歳	2	1	50	0	1	0	0	0	0	1
65～69 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
70 歳以上	2	2	100	0	1	0	0	0	1	0
合 計	38	30	76.3	14	13	0	0	2	1	8

※要精検（体部のみ）を1件含む

(キ) 乳がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40 歳未満	4,627	372	8.0	20	5.4
40～44 歳	2,700	235	8.7	22	9.4
45～49 歳	3,540	208	5.9	22	10.6
50～54 歳	3,607	207	5.7	17	8.2
55～59 歳	2,672	174	6.5	12	6.9
60～64 歳	2,211	146	6.6	20	13.7
65～69 歳	2,116	111	5.2	6	5.4
70 歳以上	10,793	403	3.73	32	7.9
合 計 (40 歳未満含む)	32,266	1,856	5.8	151	8.1
合 計 (40 歳未満除く)	27,639	1,484	5.4	131	8.8

※30 歳代は超音波検診、40 歳以上はマンモグラフィによる検診

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率 (%)	精密検査結果				未受診・未把握
				異常所見なし	乳がん	がんの疑い又は未確定	その他	
40 歳未満	20	20	100	5	0	1	14	0
40～44 歳	22	22	100	12	0	1	9	0
45～49 歳	22	21	95.5	10	0	1	10	1
50～54 歳	17	17	100	6	1	0	10	0
55～59 歳	12	11	91.7	3	0	2	6	1
60～64 歳	20	20	100	7	3	1	9	0
65～69 歳	6	5	83.3	3	0	0	2	1
70 歳以上	32	32	100	15	4	3	10	0
合 計 (40 歳未満含む)	151	148	98.0	61	8	9	70	3
合 計 (40 歳未満除く)	131	128	97.7	56	8	8	56	3

イ 肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルスは、感染しても自覚症状に乏しいことから、感染に気付きにくく、適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがあるため、健康増進法に基づく健康増進事業による肝炎ウイルス検査を特定の対象者へ実施しています。

対象者：40～47歳で、これまで肝炎検査を受けたことがない方

クーポン対象者は、40歳の方（集団検診のみ）

・年度別実施状況

区分 年度	受診者数	再掲) クーポン	クーポン 対象者	クーポン 受診率 (%)
令和元年	163	104	1,132	9.2
令和2年	15	0		
令和3年	162	138	1,642	8.4
令和4年	108	63	1,025	6.1
令和5年	101	65	1,073	6.5

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集団検診中止

・年代別実施状況

（単位：人）

区分 年齢	受診者数	再掲) クーポン	B型		C型	
			陰性	陽性	陰性	陽性
40～44歳	72	65	72	0	72	0
45～49歳	5		5	0	5	0
50～54歳	3		3	0	3	0
55～59歳	4		4	0	4	0
60～64歳	3		3	0	3	0
65～69歳	9		9	0	9	0
70歳以上	5		4	1	5	0
合 計	101	65	100	1	101	0

ウ 30・35歳健診

30歳・35歳の者を対象に健康診査を行い、若い世代から生活習慣病の予防に努めることにより、自分の健康への関心を高めます。

（単位：人）

区分 年度	対象者数	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
令和元年	1,896	149	26	71	9	43
令和2年	中止					
令和3年	3,768	296	41	132	10	113
令和4年	1,779	101	24	39	4	34
令和5年	1,844	126	11	68	6	41

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ すこやか健診（生活保護受給者）

すこやか健診を行うことにより、生活習慣病、要介護状態等になることを予防します。

（単位：人）

区分 年度	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
令和元年	8	0	3	0	5
令和2年	中止				
令和3年	2	0	0	0	2
令和4年	6	0	1	0	5
令和5年	6	0	1	0	5

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

オ 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は自覚症状がないことが多く、患者自ら病気に気づくことが難しいため、早期に予防や治療に取り組むために、健康増進法に基づく健康増進事業による骨粗しょう症検診を特定の対象者に実施しています。

対象者：20～70歳の女性で、前年度あま市骨粗しょう症検診を受診していない方
（市の検診は2年に1回）

・年度別実施状況

区分 年度	受診者数 （人）
令和元年	150
令和2年	
令和3年	
令和4年	85
令和5年	101

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・令和5年度年代別実施状況

（単位：人）

区分 年齢	受診者数	異常なし	要指導	要精検者 数	要精検率 （%）
20～24歳	0	0	0	0	0.0
25～29歳	1	1	0	0	0.0
30～34歳	6	3	2	1	16.7
35～39歳	3	3	0	0	0.0
40～44歳	10	8	2	0	0.0
45～49歳	11	11	0	0	0.0
50～54歳	16	10	6	0	0.0
55～59歳	16	12	4	0	0.0
60～64歳	18	3	14	1	5.6
65～69歳	16	5	9	2	12.5
70歳	4	2	1	1	25.0
合 計	101	58	38	5	5.0

(3) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、家庭における健康管理を支援します。

ア 健康相談、栄養相談

区分 年度	健康相談		栄養相談
	実施回数 (回)	相談者数 (人)	
令和元年	19	395	5
令和2年	随時	0	4
令和3年	随時	125	10
令和4年	随時	235	3
令和5年	随時	349	3

イ 精神保健福祉相談（アの相談者の再掲）

（単位：人）

区分 年度	面接							訪問					
	実人数	延人数	内訳					実人数	延人数	内訳			
			ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害			ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害
令和元年	13	48	2		4	0	0	3	6	0	5	0	0
令和2年	15	27	0	0	5	0	0	2	2	0	1	0	0
令和3年	8	13	0	0	1	0	0	5	19	0	0	0	0
令和4年	20	47	3	0	2	0	0	8	11	0	2	0	0
令和5年	20	71	0	0	1	0	0	6	16	0	2	0	0

区分 年度	電話・電子メール					
	延人数	内訳				
		ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
令和元年	42	3		2	0	0
令和2年	90	1	0	12	0	0
令和3年	107	0	0	2	0	0
令和4年	181	2	0	9	0	0
令和5年	233	1	1	1	0	0

(4) 健康教育

生活習慣病の予防や、その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を支援します。

ア 集団健康教育

(ア) 託児付き運動教室

令和3年度まで運動実技(軽体操やストレッチ)と健康に関する講話を行っており、子育て世代が参加しやすいよう託児を実施しました。令和3年度からバランスボールを利用した運動も取り入れ、教室名をヘルスアップ教室から「バウンス教室」に変更しました。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
令和元年	6	80	ヘルスアップ教室
令和2年	6	55	
令和3年	6	63	バウンス教室
令和4年			
令和5年			

(イ) 健康教室(食生活・調理実習)

令和3年度まで各疾患(高血圧、貧血)を予防するための栄養講話、調理実習を実施しました。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	3	34
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年		
令和5年		

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(ウ) いきいき体操

DVDによる体操やエアロビクス等を実施し、健康増進・体力向上を目指します。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	128	1,401
令和2年	62	387
令和3年	64	369
令和4年	128	1,187
令和5年	144	1,182

イ 乳がん自己検診法指導

乳がんの自己検診の効果を周知し、がんの早期発見につなげるため、集団乳がん検診日において自己検診法の指導を行っています。

区分 年度	参加者数 (人)
令和元年	1,283
令和2年	
令和3年	
令和4年	841
令和5年	714

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 骨粗しょう症栄養指導

骨粗しょう症を予防するため、骨粗しょう症検診の結果、要指導または要精検になった方に対し、栄養指導を行っています。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	4	51
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	4	42
令和5年	3	26

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(5) がん患者アピアランスケア支援事業

令和4年7月から、がんに罹患された方の経済的負担を軽減するために、がん治療によるアピアランス（外見）の変貌を補完する補整具（ウィッグや乳房補整具）の購入費用の一部を助成しています。

区分 年度	申請者数（人）	
	ウィッグ	乳房補整具
令和4年	18	8
令和5年	32	14

(6) 家庭訪問

療養上の保健指導が必要である家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行うことで、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ります。

(単位：人)

区分 年度	要指導者等		個別健康教育		閉じこもり予防		介護家族者		寝たきり		認知症		その他	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
令和元年	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
令和5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16

4 高齡者保健事業

1 高齢者保健事業（一般介護予防）

高齢者に対する運動器・口腔の機能向上や栄養の改善を図り、身体機能の維持及び閉じこもりや要介護状態になることを予防するための事業として、「健康相談」、「はっらっクラブ」、「ワクワクからだ教室」を実施しています。

NO	事業名	実施回数	事業内容	令和5年度
				最終実績 (人)
1	健康相談	38回	6か所 保健師による血圧測定・個別相談	233
2	はっらっクラブ	72回	6か所 軽体操・ストレッチ・レクリエーション、健康チェック及び歯科医師の講話で口腔機能の必要性を通し、口腔機能の健診の紹介や口腔体操の実践、低栄養予防についての講話	1,039
3	ワクワクからだ教室	36回	3か所 転倒・骨折予防のための体操	388
4	一体的事業 フレイル予防教室	14回	保険医療課・高齢福祉課・健康推進課、社会福祉協議会、あま市民病院による高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施フレイル予防教室	400
5	低栄養予防 資料配布	随時	はっらっクラブ、ワクワクからだ教室、いきいき体操、一体的事業など各種講座において低栄養予防冊子を配布・啓発	240

2 高齢者保健事業（一般介護予防）詳細

（１）健康相談

健康について悩み事や不安がある高齢者へ、会場に来所してもらい、保健師による血圧測定と健康相談を実施し、高齢者の健康の保持増進を図ります。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	対象者	内容
令和元年	35	307	65 歳以上	保健師による血圧測定・健康相談
令和 2 年	13	62		
令和 3 年	27	98		
令和 4 年	38	205		
令和 5 年	38	233		

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数（人） / 実施回数					
	人権ふれあいセンター	本郷憩の家	森憩の家	新居者憩の家	七宝老人福祉センター	美和総合福祉センターすみれの里
令和元年	16/2 回	52/4 回	41/4 回	33/3 回	54/11 回	111/11 回
令和 2 年	7/1 回	5/1 回	11/1 回	13/2 回	4/4 回	22/4 回
令和 3 年	8/1 回	18/4 回	11/2 回	15/3 回	0/9 回	46/8 回
令和 4 年	11/2 回	27/4 回	34/4 回	39/4 回	4/12 回	90/12 回
令和 5 年	15/2 回	26/4 回	47/4 回	26/4 回	14/12 回	105/12 回

※令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

（２）運動教室

ア はつらつクラブ

軽い体操に加え、口腔や栄養の話や教室の参加者同士で交流することで、心身の健康

づくりを図ります。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	88	817
令和 2 年	24	126
令和 3 年	39	265
令和 4 年	66	700
令和 5 年	72	1,039

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数（人）/実施回数							
	坂牧コミュニティ防災センター	上萱津コミュニティ防災センター	下萱津コミュニティ防災センター	正則防災コミュニティセンター	篠田防災コミュニティセンター	七宝保健センター	美和保健センター	甚目寺保健センター
令和元年	74/11 回	65/11 回	48/11 回	32/11 回	123/11 回	169/11 回	174/11 回	132/11 回
令和 2 年	14/4 回	9/4 回			29/4 回	15/4 回	38/4 回	21/4 回
令和 3 年	38/8 回	40/8 回			77/8 回	46/8 回	40/4 回	24/3 回
令和 4 年	67/11 回	48/11 回			146/11 回	178/11 回	166/11 回	95/11 回
令和 5 年	80/12 回	105/12 回			204/12 回	262/12 回	201/12 回	187/12 回

※令和元年度から令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

イ ワクワクからだ教室

はっらっクラブより運動強度が高く、体を動かすことを中心とした教室により、ストレッチ・体操で筋肉や骨の増強を図ります。令和 3 年度から教室名を「筋力アップクラブ」から「ワクワクからだ教室」に変更しました。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
令和元年	32	1,558	筋力アップ教室
令和 2 年	12	791	
令和 3 年	26	104	ワクワクからだ教室
令和 4 年	33	154	
令和 5 年	36	388	

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数（人）/実施回数		
	七宝保健センター	美和保健センター	甚目寺保健センター
令和元年	305/11 回	109/10 回	377/11 回
令和 2 年	26/4 回	10/4 回	68/4 回
令和 3 年	73/9 回	32/8 回	49/9 回
令和 4 年	84/11 回	127/11 回	50/11 回
令和 5 年	99/12 回	194/12 回	95/12 回

※令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

(3) 一体的事業 「フレイル予防教室」

令和3年度から保険医療課、高齢福祉課、健康推進課による高齢者の保健事業と介護予防が一体となったフレイル予防教室を実施しています。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和3年	7 (5)	122 (86)
令和4年	14 (9)	345 (236)
令和5年	14 (2)	400 (46)

※令和4年度は、「笑って元気スクール」として実施

() 内は健康推進課参加分

(4) 低栄養予防の周知・啓発

令和3年度まで、低栄養予防の料理教室を実施していました。令和4年度からは、低栄養予防の必要性についての周知・啓発のため、教室（はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、いきいき体操、一体的事業）参加者に対し、低栄養予防の冊子を配付しています。

ア 低栄養予防の栄養教室

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
令和元年	3	46	しっかり食べよう！お惣菜活用術
令和2年	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止		
令和3年	2	5	かんたん調理で長生きごはん

イ 低栄養予防の冊子配布

区分 年度	配布数 (人)
令和4年	322
令和5年	240

5 齒科保健事業

1 歯科保健事業

乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、歯科口腔保健を推進するため、母子・成人・高齢者のライフステージに合わせた歯科医師による診察や歯科衛生士による相談事業、歯みがき教室等を実施しました。

NO	事業名	実施時期・回数	対象	事業内容	令和5年度最終実績(人)
1	パパママ歯っぴい教室	11回	妊婦とその夫	歯科医師の診察、相談、講話	35
2	0歳児歯科健診	29回	3～11か月児	歯科医師の診察、個別相談	500
3	1歳6か月児健康診査	28回	1歳6～8か月児	歯科医師の診察、個別相談	664
4	2歳児歯科健康診査	26回	2歳0～1か月児	歯科医師の診察、歯みがき指導、フッ素塗布、個別指導、保健指導	660
5	2歳児歯科事後健康診査	1回	2歳児歯科健診で経過観察が必要になった児	歯科医師の診察、フッ素塗布、歯みがき指導、個別相談	2
6	3歳児健康診査	30回	3歳1～2か月児	歯科医師の診察、個別指導	714
7	もぐもぐ歯っぴい教室	12回	7～9か月児	9か月頃以降の離乳食の話、う蝕予防の話・歯のお手入れ方法、親子遊び	91
8	子育て相談(歯科)	36回	乳幼児	全年齢を対象に歯科衛生士による歯みがき指導、口腔内全般の個別相談	42
9	保育園・幼稚園歯みがき教室	23回	園児	園児に対して歯みがき指導、う蝕予防の話	1035
10	歯みがき教室	5回	小中学生	児童、生徒に対して、歯みがき指導、う蝕・歯肉炎予防等の話	175
11	学校保健委員会	1回	小中学生とその保護者	児童、生徒、保護者に対して生活習慣、歯みがき指導、う蝕・歯肉炎予防等の話	18
12	前期歯の健康センター	4年に3回	乳幼児(就学前)と保護者	保護者教室、歯科相談等(R5は大治町で実施)	-

13	歯科相談		随時	希望者	個別の歯科相談	6
NO	事業名		実施時期・回数	対象	事業内容	令和5年度 最終実績 (人)
14	歯と口腔 の 健診	集団	6回	18歳以上	歯周病・粘膜等の健診 75歳以上には咬合の状 態・咀嚼能力評価・舌機 能評価・嚥下機能テスト を追加で実施	177
15	はつらっクラブ (歯科)		5回	65歳以上	オーラルフレイルに関す る講話、健口体操等	87
16	10020・9020・8020 表彰		随時	100歳以上 90代 80代	20本以上自歯がある方を 表彰	38
17	健口体操の 啓発資料配布		随時	65歳以上の 世帯	民生委員による健口体操 の資料配布・啓発	10,469
18	歯と口腔保健推進 協議会		年1回		市民、歯科医師等、関係 機関及び事業者が連携 し、口腔保健事業を総合 的かつ計画的に推進する ための協議会	1回

2 歯科保健事業詳細

(1) 母子歯科保健事業

乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さや成長に伴う口腔機能の発達について、乳幼児健診での歯科診察や教室での講話で周知し、歯と口腔の発育の確認・支援を行っています。

ア パパママ歯っぴい教室（マタニティ教室）（妊婦歯科健診）

区分 年度	対象者数 (人)	実施回数 (回)	受診者数 (人)		妊婦									
					現在 歯数 (本)	健全 歯数 (本)	未処置 歯数 (本)	歯肉出血			歯周ポケット			
			妊婦	父親				無	有	診査 不可	無	4～ 5mm	6mm 以上	診査 不可
令和元年	725	15	76	15	2,148	1,668	33	44	32	0	56	20	0	0
令和2年	660	9	34	4	976	844	5	25	9	0	28	6	0	0
令和3年	615	5	18	3	505	434	11	10	8	0	15	3	0	0
令和4年	584	12	40	4	1,140	1,004	7	31	9	0	26	14	0	0
令和5年	569	11	33	2	940	805	13	17	16	0	24	9	0	0

イ 0歳児歯科健診

成長が著しい乳児期に対する口腔の健診の中で、歯科医師による適切な指導と、経過

観
察の指示を行う事により、保護者の不安を軽減し、正常な口腔の発達を促す効果を得る
た

め、令和2年度から「0歳児歯科健診」を実施しています。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数	受診者数	受診率 (%)	所見あり
令和2年	25	455	315	69.2	32
令和3年	38	681	535	78.6	47
令和4年	32	616	488	79.2	47
令和5年	29	574	500	87.1	45

・令和5年度詳細結果

(単位：人)

対象者 数	受診者 数	口腔の発達							
		吸啜窩 不明瞭	顎間空隙 不明瞭	顎非対 称性	小下顎 症	下顎前 突			
574	500	0	13	0	0	0			
摂食嚥下機能発達					軟組織（歯肉、口唇周囲）				
哺乳反 射制限	舌の運 動制限	顎の開 閉制限	舌小帯 強直	口唇閉 鎖不全	先天性 歯	リガフ エーデ	上皮真 珠	ヘルペス性 歯肉口内炎	口唇口 蓋裂
0	0	0	4	0	0	0	29	0	0

ウ 1歳6か月児歯科健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和元年	32	697	685	98.3	0.7	0.01
令和2年	29	718	694	96.7	1.0	0.02
令和3年	33	789	790	100	0.8	0.02
令和4年	30	696	678	97.4	0.1	0.01
令和5年	28	671	664	99.0	0.8	0.02

・令和5年度詳細結果

(単位：人)

対象者 数	受診者 数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				01型	02型	A型	B型	C型
671	664	14	0	315	344	5	0	0
歯列・ 咬合異常	軟組織 異常	口腔の その他の 異常	歯垢付着					
79	97	36	30					

(注) 用語の説明

う蝕罹患型 01型:う蝕がなく、かつ口腔環境がよい。

02型:う蝕がないが口腔環境が悪いため、近い将来う蝕発生が予想される。

A型:上顎前歯部のみ、または臼歯部のみう蝕があるもの。

B型:上顎前歯部及び臼歯部にう蝕があるもの。

C型:下顎前歯部を含む、他の部位にう蝕があるもの。

エ 2歳児歯科健康診査

う蝕などの歯科疾患の早期発見及びう蝕の予防、歯科保健の向上を図ることを目的とし、歯科医師の診察や歯みがき指導、希望者に対するフッ化物の塗布を行います。

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和元年	22	724	644	89.0	3.4	0.11
令和2年	18	710	462	65.1	1.9	0.04
令和3年	29	728	661	90.8	2.3	0.07
令和4年	26	709	639	90.1	1.1	0.02
令和5年	26	721	660	91.5	2.0	0.05

・令和5年度詳細結果

(単位：人)

対象者数	受診者数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				01 型	02 型	A 型	B 型	C 型
721	660	30	0	250	397	12	1	0
歯垢付着	フッ化物 塗布							
15	466							

オ 2歳児歯科事後健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和元年	13	55	26	47.3	19.2	0.81
令和2年	7	14	5	35.7	20.0	0.20
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	0	0	0	0	0	0
令和5年	1	2	2	100	0	0

カ 3歳児歯科健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和元年	32	704	678	96.3	7.8	0.22
令和2年	31	717	695	96.9	8.2	0.32
令和3年	33	780	761	97.6	8.1	0.28
令和4年	31	726	719	99	7.1	0.19
令和5年	30	713	714	100.1	4.5	0.13

・令和5年度詳細結果

(単位：人)

対象者数	受診者数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				0 型	A 型	B 型	C1 型	C2 型
713	714	95	6	682	23	8	1	0
反対咬合 (下顎前突)	上顎前突 (過蓋咬合)	開咬	その他の 歯列・ 咬合異常	小帯異 常	歯肉異 常	その他の 軟組織 異常	歯の形態 異常・ 歯数異常	口腔の その他の 異常
44	46	13	44	44	3	0	37	6
歯垢付着	指しゃぶり おしゃぶり							
33	37							

(注) 用語の説明

う蝕罹患型 O型:う蝕がないもの。

A 型:上顎前歯部のみ、または臼歯部のみう蝕があるもの。

B 型:上顎前歯部及び臼歯部にう蝕があるもの。

C1 型:下顎前歯部のみにう蝕があるもの。

C2 型:下顎前歯部を含む、他の部位にう蝕があるもの。

キ もぐもぐ歯っぴい教室

(単位:人)

区分 年度	回数 (回)	対象者数	参加者数	参加率 (%)	再掲) 健診 事後指導
令和元年	22	584	176	30.1	0
令和2年	12	468	56	12.0	0
令和3年	9	434	37	8.5	0
令和4年	11	832	97	11.7	0
令和5年	12(4)	769	91	11.8	0

※令和5年度ウェブでの教室を実施。()内はウェブでの実施回数を再掲

ク 子育て相談(歯科)

区分 年度	参加者数 (人)
令和元年	81
令和2年	64
令和3年	51
令和4年	71
令和5年	42

ケ 保育園・幼稚園歯みがき教室

幼児期に歯と口腔の健康に関する正しい知識を普及し、生涯にわたる歯及び口腔の保持増進に必要な基本的な保健行動を身につけ、適切な歯みがきや習慣の定着を図るために、園児の歯科教室を開催しています。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	再掲) 公立 保育園 (回)	再掲) 幼稚園・ その他 (回)	参加者数 (人)
令和元年	22	19	3	1,570
令和2年	中止			
令和3年	11	9	2	399
令和4年	11	9	2	507
令和5年	23	20	3	1,035

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

コ 歯みがき教室（小・中学校）

・年度別実施状況

区分 年度	実施場所	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	小学校	13	355
	中学校	5	175
令和2年	小学校	12	326
	中学校	5	168
令和3年	中学校	6	190
令和4年	中学校	4	145
令和5年	中学校	5	175

サ 学校保健委員会

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	2	32
令和2年	2	32
令和3年	1	16
令和4年	2	37
令和5年	1	18

シ 前期歯の健康センター

歯と口の健康週間の事業として、歯の健康センター（保護者教室・歯科相談等）を実施しています。令和4年度からは事前予約制となりました。

区分 年度	会場	参加人数 (人)
令和元年	甚目寺保健センター	196
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	七宝保健センター	45
令和5年	(大治町保健センター)	

※令和2年度・令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

(2) 成人歯科保健事業

成人歯科健診を実施し、歯周病・口腔疾患・う蝕の健診を行うことで、治療につなげ、歯と口腔の健康づくりの意識向上につなげています。また、がん検診または30・35歳健診と同時に成人歯科健診を行い、健診を受けやすい体制を整えています。

成人歯科健診（歯と口腔の健診）

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	受診者数 (人)
令和元年	23	1,147
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	3	66
令和5年	6	177

※令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

・令和5年度実施状況

区分 年齢	受診者数 (人)	現在歯数 (本)	(再掲) 第3大臼歯 (本)	未処置歯 保有者数 (人)	1人平均 現在歯数 (本)
18歳～39歳	126	3,579	103	27	28.4
40歳～44歳	1	28	0	1	28.0
45歳～49歳	0	－	－	0	－
50歳～54歳	0	－	－	0	－
55歳～59歳	3	84	0	0	28.0
60歳～64歳	4	109	2	0	27.3
65歳～69歳	2	55	0	0	27.5
70歳～74歳	7	185	5	3	26.4
75歳～	34	846	23	7	24.9
合計	177	4,886	133	38	27.6

(3) 高齢者歯科保健事業

80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進し、口腔機能の維持・向上や、機能減退による誤嚥・窒息の防止のために、歯科医師による講話や口腔体操の啓発を実施しています。

ア はつらっクラブ（歯科分）

区分 年度	実施回数 (回)	参加人数 (人)
令和元年	8	77
令和2年	中止	
令和3年	2	14
令和4年	6	59
令和5年	5	87

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

イ 10020・9020・8020表彰

80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進するため、80 歳代で 20 本以上の歯がある方に対し、表彰を行っています。また、90 代、100 歳以上で 20 本以上の歯がある方に対しても表彰を行っています。

(単位：人)

区分 年度	10020 表彰者数	9020 表彰者数	8020 表彰者数
令和元年	0	3	20
令和2年	1	1	11
令和3年	0	3	37
令和4年	1	4	48
令和5年	1	2	35

ウ 健口体操の啓發文書配布

平成 30 年度より、あま市民生委員の協力を得て、65 歳以上の世帯に対し、健口体操の配布を実施しています。

区分 年度	配布数 (人)
令和元年	10,940
令和2年	10,423
令和3年	10,968
令和4年	10,451
令和5年	10,469

エ あま市歯と口腔保健推進協議会

区分 年度	実施回数 (回)
令和元年	1
令和2年	1（書面）
令和3年	1（書面）
令和4年	1
令和5年	1

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、書面会議で実施

6 健康増進事業

1 健康増進事業

壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図るとともに介護を要する状態に陥ることを予防し、自立の促進と援助のため、健康づくりに関する事業を実施しています。

NO	事業名	年間 実施回数	事業内容	令和5年度
				最終実績 (人)
1	健康マイレージ 事業	6～12月	市民等の自主的な健康づくり活動を支援 【一般コース】市民等を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ（20ポイント）獲得者へ「優待カード」及び抽選で「健康グッズ」等を贈呈	1,443 (内アプリ 86人)
			【小中学校コース】児童・生徒・保護者を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ（30ポイント）獲得者の人数に応じて、学校へ交付金を交付	10,881
2	健康づくり応援店	通年	野菜摂取量促進メニューの促進、食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただく店舗を登録し、周知を図る	新規店舗数 5
3	ウォーキングあま	9回	ウォーキングボランティアが作成したウォーキングマップを使用して市内10コースのウォーキングコースを散策	167
4	Mr. あーまん (動画配信)	通年	働く世代を中心に子どもから高齢者まで家庭で出来る健康体操の配信	1,100回
5	あま体操 普及啓発 (啓発及び動画配信)	啓発 随時	「ずっとWe Love あま 体操！」を市民体操として啓発	啓発回数 25回
		動画配信 通年		再生回数 5,700回
6	園児の防煙教室	17回	市内保育園・幼稚園・認定こども園の年長児を対象に受動喫煙防止の推進を図る	744
7	出前講座	11回	健康づくり、感染症予防等に関する講座	315
8	活き生き推進隊 活動支援		あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育計画の推進するためのサポーターを育成し、その活動を支援 ・健康に関する勉強会 ・研修の企画 ・議事録の作成 ・計画した活動をする場の提供 ・自主活動に向けた助言指導 ・R5年度はあま市開催により大会においてあま体操を発表	37回

NO	事業名	年間 実施回数	事業内容	令和5年度
				最終実績 (人)
9	食育ボランティア 活動支援		地域の健康づくりの食育活動を推進して いくための、ボランティアの活動を支援 ・食育事業の開催周知 ・研修の企画 ・定例会の資料の作成 ※R4年度までは食生活改善推進員として活動	34回 (定例会：22回、食育活動に向けた調整：6回、周知活動：4回、ボランティア登録支援：2回)

2 第2次あま市健康づくり計画

「第1次あま市総合計画」の将来像の実現に向けて、健康づくりの分野においては、『心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち』を基本目標として、全ての市民が自らの健康についての自覚を深め、継続的で主体的な健康づくりに取り組めるよう支援することとしています。本計画においてもこの理念を継承し、個人・家庭や関係機関・地域、行政を含めた地域社会のみなで、楽しく健康づくりに取り組む活力あるまちを目指します。

<基本理念>

『市民自ら健康づくりに取り組み、心身ともに健やかで、いきいきと笑顔で暮らせるまちづくり』

(1) 健康マイレージ

あま健康マイレージを実施することにより、市民一人ひとりが生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組めるよう、行政・企業・市民が連携し、社会全体で個人の健康を支え、守るための環境を整えます。令和2年度以降は、健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」からも一般コースに参加できるようになりました。令和3年度からは、健康グッズの当選者数を拡大することで、市民の健康づくりへの意識づけを強化した結果、健康マイレージ事業への参加者は増加傾向にあります。

・事業概要

コース名	一般コース	小中学校コース
対 象 者	市内在住・在勤・在学者	市内小中学校在学者、その同居家族
実施期間	6月1日～12月20日	6月1日～9月30日
事業内容	健康づくりにつながる取組みを実践、市の主催する健康に関するイベント等に参加すると、マイレージ（ポイント）を獲得でき、20ポイント獲得者に優待カードを交付するとともに、健康グッズを抽選で交付する。	健康づくりにつながる取組みを実践、市の主催する健康に関するイベント等に参加すると、マイレージ（ポイント）を獲得でき、30ポイント獲得した人数に応じて、健康づくりに関する活動等に使用可能な交付金を学校に支給する。

・年度別実施状況

(単位：人)

区分 年度	一般コース	小中学校コース
令和元年	1,071	8,115
令和2年	809	7,349
令和3年	994	8,167
令和4年	1,241	10,689
令和5年	1,443	10,881

・年代別実施状況（一般コース）

（単位：人）

区分 年度	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代～		不 明	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和元年	23	20	9	12	14	30	18	53	25	54	44	131	182	456		1,071
令和2年	31	24	7	18	15	23	21	44	26	44	23	75	138	319	1	809
令和3年	35	25	13	19	22	41	24	60	40	65	28	88	164	370		994
令和4年	35	45	17	28	26	46	47	85	54	99	42	94	182	441		1,241
令和5年	38	50	20	31	34	46	49	77	48	107	46	97	196	489	115	1,443

（２）健康づくり計画の分野

ア 栄養と食生活

食事は生活習慣病と密接な関係があり、健康を維持・増進するためには欠かすことができないため、ライフステージ別に応じた栄養指導や相談、栄養と食生活に関する正しい知識の普及を実施しています。また、食育ボランティアや生き生き推進隊によるレシピ作成や栄養講座の実施の支援も行っています。

主な活動内容
・妊娠期・乳幼児期に向けたパパママ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室の実施 ・栄養士による個別相談 ・食育ボランティアによる親子おやつ教室の実施 ・「あまつり」、「あまのわ」で野菜 350g 計量を行い、野菜摂取量の啓発実施 ・食育ボランティア考案のレシピを広報掲載 ・“たっぷり野菜♥あまごはん”「健康づくり応援店」の周知 ・栄養についてのリーフレット配布 ・食育ボランティア・生き生き推進隊の活動支援

（ア）健康づくり応援店

市民の健康づくりを推進することを目的とし、野菜をたくさん食べて健康的な生活を送れる環境づくりの一環として「野菜をしっかりと摂れるメニュー（たっぷり野菜♥あまごはん）」の提供や食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただく店舗を紹介しています。

協力店については、ステッカーとのぼりをお渡し、市公式ウェブサイトや市広報で紹介をしています。

年度	区分	新規店舗数（件）
令和4年		5
令和5年		5

※たっぷり野菜♥あまごはん…1食の食事で、野菜を120g以上（1日の目標摂取量350gの3分の1）使用したメニュー

イ 身体活動と運動

身体活動と運動による健康づくりの普及啓発を図るため、ウォーキングあまや健康づくりについての出前講座を実施しています。新たな取組として、あま市政 10 周年記念事業で作成された市の歌「ずっと We Love あま！」の曲に合わせた「ずっと We Love あま！体操」を令和 2 年度に作成し、子どもからお年寄りまで、幅広い世代が自身の健康づくりに役立つ体操となっています。動画配信や出前講座においても、「ずっと We Love あま！体操」と「Mr. あーまん」による健康体操の周知をしています。

主な活動内容
・「ずっと We Love あま！体操（以下あま体操）」周知 ・「ずっと We Love あま！体操 第 3 弾」動画作成 ・Mr.あーまんによる運動についての動画配信 ・ウォーキングあま、いきいき体操の実施 ・活き生き推進隊によるあま体操啓発活動 ・活き生き推進隊によるあまのわ・サロン会場での活動支援 ・高齢者向けの運動教室の実施 ・出前講座や介護予防教室（一体的事業）の実施

（ア） ウォーキングあま

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和元年	10	259
令和 2 年	4	69
令和 3 年	1	14
令和 4 年	10	149
令和 5 年	9	167

（イ） 動画配信

- ・Mr.あーまん（健康体操）

区分 年度	再生回数（回）	体操の種類（テーマ）
令和 4 年	1,500	肩こり予防、腰痛予防、膝痛予防
令和 5 年	1,100	親子遊び、筋トレ、あま体操（椅子）

（ウ） あま体操普及啓発

- ・あま体操普及啓発

区分 年度	あま体操 普及啓発（回）
令和 4 年	27
令和 5 年	25

- ・あま体操普及啓発動画

区分 年度	再生回数（回）
令和 4 年	7,000
令和 5 年	5,700

ウ こころの健康づくり

こころの健康は、生活の質を大きく左右する要素であり、いきいきと自分らしく生きるための重要な条件となります。不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制の充実や相談窓口の周知を行っています。また、ゲートキーパーの養成や自殺予防の街頭啓発を行い、住民の方へこころの健康を保つための知識を普及・啓発しています。

主な活動内容
・子育て支援センター・子育てコンシェルジュの紹介 ・定期的（月１回ほど）に要支援検討会を開催 ・ふたごちゃんみつごちゃん交流会開催 ・臨床心理士による心理相談や精神科医による相談会実施 ・市内中学校・小学校で統一したＳＯＳの出し方教育 ・自殺予防の周知啓発（街頭啓発等） ・自殺対策強化月間（３月）の通勤・通学時間帯に街頭啓発を実施 ・ゲートキーパー養成講座の実施 ・「あま安心ダイヤル」や「困ったときの相談窓口」の周知

エ たばこ

たばこの害や影響についての周知・啓発や禁煙希望者に対し、禁煙外来等がある医療機関の周知を行っています。令和元年度から、幼少期からたばこによる身体への影響について学ぶため、市内保育園・幼稚園・こども園を対象に「防煙教室」を実施しています。

主な活動内容
・受動喫煙防止のリーフレット配布、ポスター掲示 ・乳幼児健診・肺がん検診時に喫煙に関する注意喚起（リーフレット） ・防煙教室の実施（幼稚園・保育園等） ・禁煙外来や禁煙相談について周知 ・市公式ウェブサイトにてたばこの害や影響についての情報を掲載

・園児の防煙教室

区分 年度	実施回数 (回)	再掲) 公立 保育園(回)	再掲) 幼稚園・ その他(回)	参加者数 (人)
令和元年	9	9	0	366
令和２年	9	9	0	291
令和３年	9	9	0	241
令和４年	13	9	4	404
令和５年	17	9	8	744

オ アルコール

飲酒による身体への影響や適正飲酒量を周知するため、広報による適正飲酒量の普及啓発や「あまのわ」でアルコールパッチテストを実施しています。また、妊娠期・授乳期での飲酒については、胎児や乳児の脳や体の発育に影響を及ぼす恐れがあるため、母子健康手帳交付時に個別面接を実施し、正しい知識の周知を行っています。

主な活動内容
・適正飲酒量の周知（１歳６か月児健診、広報等） ・多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響、アルコール依存症についての周知 ・あまのわでアルコールパッチテスト実施 ・飲酒による妊婦、胎児への影響の周知

カ 健康管理

疾病の早期発見・早期治療や必要な支援につなげるため、市民自身や子どもの健康管理の促進を図り、乳幼児健診やがん検診等の必要性を周知しています。

健診結果や心身発達状況を基に、適宜、個別相談や訪問、面接を行うことで、きめこまやかな保健指導を実施しています。

主な活動内容
・健診受診や心身発達把握の必要性の周知、勧奨 ・予防接種未接種者への個別通知 ・要支援妊婦へのパパママ教室、電話相談、面談、訪問勧奨 ・医療ネグレクト児に対し、関係機関と連携、適宜訪問・面接による支援 ・がん検診の実施 ・乳がん・子宮がんクーポン検診未受診者への勧奨 ・要精密検者の精密検査未受診者に対して、各医療機関と連携し、再通知や個別勧奨の実施 ・健康に対する個別相談の実施 ・生き生き推進隊による適正体重の周知 ・生き生き推進隊の役員会や定例会の開催

キ 出前講座

区分 年度	実施 回数 (回)	参加 者数 (人)	内容						
			健口 体操	あま 体操	コツコツ 貯めよう カルシ ウム	ロコモ 教室	あま市 の健康 課題と 取組	こころ の健康	その他
令和元年	6	262				5		1	
令和２年	3	47		2		1			
令和３年	5	107		1		1	3		
令和４年	7	173	2	1		4			
令和５年	11	315	1	3	2	2		1	2

※令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座回数減少

3 活き生き推進隊活動

活き生き推進隊は、「あま市健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画」を推進し、心身ともに健やかで、活き生きと笑顔で暮らせるまちづくりの実現に寄与することを目的としたサポーターとして、市が実施する保健事業への協力や健康づくりに関する知識の普及・啓発を行っています。

ア 年度別活き生き推進隊員数

区分 年度	隊員数 (人)
令和元年	50
令和2年	38
令和3年	18
令和4年	22
令和5年	20

イ 令和5年度 主な活動の内訳

事業名	実施回数	活動内容
あま体操の啓発	28回	サロンや保育園等でのあま体操講座
あまつり、あまのわ	2回	あま体操ステージ発表、適正体重周知

ウ 令和5年度 その他の活動

事業名	実施回数	活き生き推進隊 協力数(延数)	内容
役員会	8回	51	実績報告、事業計画
定例会	15回	216	活動内容についての話し合い、活動の準備、歴史ウォーキング、電子レンジレシピの作成

4 食育ボランティア

食育ボランティアは、市内在住で、食を通じた健康づくり活動に興味のある方が所属しており、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、バランスのとれた食生活の定着を目的とした市への支援活動や自主的な活動の両面から活動を行っています。

ア 年度別活動者数

区分 年度	活動者 (人)
令和元年	29
令和2年	32
令和3年	27
令和4年	27
令和5年	22

※令和4年度までは食生活改善推進員として活動し、令和5年度より食育ボランティアとなる。

イ 令和5年度 主な活動の内訳

事業名	実施回数	活動内容
おやつ教室	1回	レシピ作成、調理補助
親子おやつ教室	1回	レシピ作成、調理補助
市広報へのレシピ掲載	2回	レシピ作成（10月号、3月号）
人権推進課主催「カンタン男メシ。」	1回	調理補助
あま市観光協会主催「あまっこサンドイッチレシピコンテスト」への参加	1回	試食、コンテスト審査、表彰式参加

ウ 令和5年度 その他の活動

事業名	実施回数	食育ボランティア 協力数（延数）	内容
あま市合同研修会	1回	15	管理栄養士とのレシピ試食会
定例会	美和	11回	活動内容についての話し合い、支援事業の準備
	甚目寺	10回	

5 健康都市連合、健康都市連合日本支部

・健康都市連合（Alliance For Healthy Cities）

健康都市連合とは、WHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局の呼びかけで平成15年に創設された国際的なネットワークです。

都市に住む人の健康を守り、生活の質を向上させるため健康都市に取り組んでいる都市のネットワークを広げることで、各都市の経験を生かしながら、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的としています。

あま市は平成26年7月8日に正会員として加盟しました。

加盟状況

○世界9か国（令和5年6月現在） 189都市、50団体が加盟

○国内（令和5年6月現在） 31都市、6団体

・健康都市連合日本支部への加盟

健康都市連合日本支部は、健康都市連合に加盟していた沖縄県平良市（現宮古島市）・千葉県市川市・愛知県尾張旭市・静岡県袋井市の4市が発起人となり、平成17年に発足しました。

健康都市に関する情報を広く提供するとともに、健康都市の実現に賛同する都市等のネットワークを構築することにより、日本における各都市の地域特性に応じた健康都市の実現に寄与することを目的としています。

あま市は平成26年6月12日加盟し、令和5年度開催の第17回健康都市連合日本支部総会・大会の実施会場となりました。

加盟状況

○会員（令和5年4月現在）37都市、3団体

○県内の加盟 尾張旭市、名古屋市、大府市、北名古屋市、田原市、長久手市、あま市（平成26年7月加盟）、愛西市

健康都市連合日本支部総会等参加実績

年 度	総 会 名	日 時	会 場
令和元年	第15回健康都市連合日本支部総会及び大会	7月30・31日	香川県高松市
令和2年	第16回健康都市連合日本支部総会	7月16日	書面開催 大会中止
令和3年	第17回健康都市連合日本支部総会	7月15日	書面開催 大会中止
令和4年	第18回健康都市連合日本支部総会	8月4日	オンライン開催
	第18回健康都市連合日本支部大会	11月24日	大阪府泉佐野市
令和5年	第19回健康都市連合日本支部総会及び大会	7月13・14日	愛知県あま市

第19回健康都市連合日本支部総会及び大会があま市で開催されました。

【日 時】令和5年7月13日（木） 13時～14時30分

【場 所】あま市美和文化会館 多目的ホール

【出 席】1 会員

北海道：網走市・帯広市 新潟県：妙高市 千葉県：松戸市・柏市
・市川市・我孫子市 東京都：西東京市・台東区 静岡県：袋井市・
藤枝市 岐阜県：多治見市 愛知県：尾張旭市・名古屋市・大府市・
北名古屋市・田原市・長久手市・あま市・愛西市 三重県：亀山市
大阪府：泉佐野市・吹田市 香川県：高松市 愛媛県：八幡浜市・伊予市

2 協力会員

認定NPO法人健康都市活動支援機構、株式会社コーポレートデザイン研究
所

3 【書面表決】会員

千葉県鎌ヶ谷市、静岡県浜松市、高知県四万十市・須崎市、沖縄県宮古島市

4 【委任状の提出による表決】会員

埼玉県川口市、千葉県流山市、神奈川県大和市、鹿児島県南さつま市、愛媛
県東温市・四国中央市

【次 第】1 健康都市連合日本支部長あいさつ

千葉県松戸市長 本郷谷 健次 氏

2 第19回健康都市連合日本支部総会・大会開催市長あいさつ

愛知県あま市長 村上 浩司 氏

3 健康都市連合日本支部役員紹介

副支部長：三重県亀山市長、大阪府泉佐野市長（代理：副市長）

監事：東京都台東区長（代理：健康部長）

理事：北海道網走市長、千葉県柏市長、東京都西東京市長、静岡県袋井
市長、愛知県尾張旭市長、愛媛県八幡浜市長、

理事兼広報部会長：新潟県妙高市長

理事兼加盟促進部会長：大阪府吹田市長（代理：健康まちづくり室主幹）

4 出席者紹介

会員：北海道帯広市健康保険室長、千葉縣市川市長・我孫子市長
静岡県藤枝市健康企画課長、岐阜県多治見市長、愛知県名古屋市
健康部長・大府市長・北名古屋市・田原市こども健康部長・
長久手市長・愛西市長、香川県高松市副市長、愛媛県伊予市副市
長

協力会員：認定NPO法人健康都市活動支援機構事務部長、株式会社
コーポレートデザイン研究所代表取締役社長、健康都市連合日本
支部顧問、三重県桑名市長（オブザーバー）

5 健康都市連合事務局長あいさつ

健康都市連合事務局長 中村 桂子 氏

6 議事

7 報告事項

(1) 健康都市連合日本支部役員会議の報告について

8 活動報告

(1) 健康都市連合事務局

報告者：健康都市連合事務局長 中村 桂子 氏

(2) 認定NPO法人健康都市活動支援機構

報告者：認定NPO法人健康都市活動支援機構事務局 曾川 大 氏

(3) 健康都市連合 理事

報告者：静岡県袋井市長 大場 規之 氏

9 発表

テーマ：持続可能な健康都市の展開のための指標の活用に関する研究
：総合指標の開発」成果の概要

説明者：WHO健康都市・都市政策研究協力センター所長、健康都市連
合事務局長 中村 桂子 氏

10 その他

事務局より3年間事務局を務めて感じた今後の課題について

説明者：事務局（松戸市）

第19回 健康都市連合日本支部大会プログラム

【令和5年7月13日（木）】

15：15 1 開会式 ①日本支部長市、開催都市挨拶

②来賓祝辞・紹介

③加盟都市紹介

16：00 2 加盟都市活動発表

① 「「健康」応援都市を目指して」 東京都西東京市

② 「健康寿命日本一のまちづくり」に向けた取り組み
千葉県市川市

17：15～18：00 交流会

19：00～ 懇親会 スtringスホテル名古屋1階グランコート

【令和5年7月14日（金）】

9：30 1 大会再開

9：35 2 基調講演

「共に想い 共に創る 人生100年時代」

公益社団法人 地域医療振興協会

あま市民病院 管理者兼病院長 梅屋 崇 氏

10：25 3 加盟都市等活動発表

「食べる」「歩く」で生活習慣改善！地域の健康づくり支援と健康経営推
進認定NPO法人健康都市支援機構・法人協力会員（花王株式会社）

～ 休 憩 ～

10：55 4 あま体操／正則保育園年長児・あま市生き生き推進隊

- 11 : 00 5 開催都市（愛知県あま市・市民団体）活動発表
- ① みんなに元気のおすそ分け／あま市活き生き推進隊
 - ② RAPOエコってなに？／RAPOエコ
- 11 : 40 6 閉会挨拶

7 予防接種事業

1 予防接種事業

本市で実施する予防接種は、予防接種法（昭和 23 年法律第 68 号）の規定に基づく定期接種として、「BCG」、「4 種混合」、「日本脳炎」、「麻しん及び風しん混合」等の子どもを対象とした予防接種と「高齢者インフルエンザ」、「高齢者の肺炎球菌感染症」等の高齢者を対象とした予防接種を実施しています。

令和 5 年度においては、平成 25 年 6 月から積極的勧奨が控えられてきた HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）の積極的勧奨の再開により、接種対象者である小学 6 年生から高校 1 年生相当の女性の他、キャッチアップ接種として 2 年目であり、積極的勧奨が差し控えられてきた期間中に定期接種の対象者であった平成 9 年度生まれから平成 18 年度生まれまでの女性に対して、HPV ワクチン接種を実施しました。

また、令和 5 年 9 月 1 日から带状疱疹接種費用一部助成事業を開始しました。

NO	事業名	対象年齢・接種回数	令和 5 年度
			最終実績 (人)
1	BCG	1 歳に至るまで・1 回 (標準的な接種期間 生後 5 から 8 か月)	588
2	ヒブ感染症	生後 2 か月から 5 歳未満 (開始年齢によって接種回数が異なる)	2,310
3	小児の肺炎球菌感染症	生後 2 か月から 5 歳未満 (開始年齢によって接種回数が異なる)	2,318
4	B 型肝炎	1 歳に至るまで・3 回 (標準的な接種期間 生後 2 から 9 か月)	1,725
5	ロタウイルス感染症	ロタリックス：生後 6 週から 24 週まで ・2 回 ロタテック：生後 6 週から 32 週まで ・3 回 (ワクチンによって接種時期・回数が異なる)	1,329
6	不活化ポリオ (急性灰白髄炎)	生後 3 か月から 7 歳半まで・4 回	0
7	4 種混合	生後 2 か月から 7 歳半まで・4 回 (令和 5 年度から対象年齢が生後 2 か月からに変更)	2,540
8	2 種混合	小学校 6 年生 (11 歳以上 13 歳未満) ・1 回	622
9	麻しん及び風しん 混合 (MR)	1 期 (1 歳)、2 期 (5、6 歳) ・各 1 回	1 期 569 2 期 698
10	水痘	1 歳から 3 歳に至るまで ・2 回	1,232
11	日本脳炎	3 歳から 7 歳半まで ・3 回 小学 4 年生 (9 歳から 13 歳未満) 追加接種 ・1 回 特例対象者 (平成 19 年 4 月 1 日以前生まれ。ただし、 20 歳未満)	2,848

NO	事業名	対象年齢・接種回数	令和5年度
			最終実績 (人)
12	HPV感染症 (子宮頸がん)	小学6年生から高校1年生相当する年齢の女性・3回 キャッチアップ対象者(平成9年4月2日～平成19 年4月1日生まれ的女性で、過去にHPVワクチンの接 種を合計3回受けていない者)・1～3回	798
	HPV感染症に係る 任意接種償還払	HPVワクチンの積極的勧奨の差し控えにより予防接 種の機会を逃した人の中で、定期接種の対象年齢を過 ぎてHPVワクチンの任意接種を受けた者・1～3回	2
13	高齢者 インフルエンザ	65歳以上及び60から65歳未満の身体障害者手帳内 部障害1級程度の者・1回	12,016
14	高齢者の 肺炎球菌感染症	65・70・75・80・85・90・100歳以上及び60から65 歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	735
15	大人の風しん (風しんの 追加的対策)	抗体保有率の低い世代(昭和37年4月2日～昭和54 年4月1日生まれの男性)に対し、風しんの抗体検査 を実施 抗体検査の結果、抗体が十分でないと確認できた者に 対し、予防接種の実施	抗体検査 102 予防接種 13
16	大人の風しん (任意)	妊娠を予定又は希望している女性(妊婦を除く) ただし、風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でな いと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で 助成を受けたことがない者 接種費用一部助成	MR 10 風しん 1
17	子ども インフルエンザ (任意)	平成20年4月2日～平成23年4月1日生・1回 平成23年4月2日～令和4年12月31日生・2回 接種費用一部助成(市単独事業)	7,346
18	特別の理由による 任意接種助成事業 (任意)	骨髄移植手術その他の理由により、免疫を失い、接種 済みの定期の予防接種の予防効果が期待できないと 医師に判断され、任意で再度、予防接種を受ける方に 対し、予防接種に要する費用の一部を助成 接種日に20歳未満の方 ただし、4種混合は15歳未満、ヒブは10歳未満、小 児の肺炎球菌は6歳未満、BCGは4歳未満の方	0
19	帯状疱疹 (任意)	令和5年9月1日から50歳以上の方 1人1回 接種費用一部助成(市単独事業)	816

2 予防接種事業詳細

(1) 定期の予防接種（A類疾病）

定期の予防接種のうち、A類疾病については、人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、またはかかった場合の病状の程度が重篤になり、もしくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病であり、接種費用の全額を市が負担して行っています。

ア BCG

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	再掲) 集団	接種率 (%)
令和元年	627	609	24	585	97.1
令和2年	720	795	88		110.4
令和3年	691	665	75		96.2
令和4年	644	611	57		94.9
令和5年	608	588	44		96.7

※令和2年度から個別接種のみ

イ ヒブ感染症

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	693	686	92	99.0	689	658	96	95.5
令和2年	718	686	82	95.5	714	721	89	101.0
令和3年	706	699	76	99.0	696	683	75	98.1
令和4年	601	605	54	100.7	619	618	61	99.8
令和5年	603	574	50	95.2	599	573	47	95.7
区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	689	664	92	96.4	715	695	75	97.2
令和2年	713	714	89	100.1	712	732	101	102.8
令和3年	699	680	76	97.3	703	685	74	97.4
令和4年	636	610	61	95.9	704	666	43	94.6
令和5年	590	584	43	99.0	604	579	45	95.9

ウ 小児の肺炎球菌感染症

(単位:人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	693	690	92	99.6	689	678	99	98.4
令和2年	718	683	81	95.1	714	702	88	98.3
令和3年	706	700	76	99.2	696	685	75	98.4
令和4年	601	603	54	100.3	619	619	61	100.0
令和5年	603	577	50	95.7	599	575	47	96.0
区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	689	684	100	99.3	713	707	87	99.2
令和2年	713	701	84	98.3	714	706	90	98.9
令和3年	699	680	75	97.3	703	688	74	97.9
令和4年	636	613	61	96.4	713	665	43	93.3
令和5年	590	586	43	99.3	608	580	45	95.4

エ B型肝炎

(単位:人)

区分 年度	1回目				2回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	693	685	91	98.8	689	676	99	98.1
令和2年	718	683	83	95.1	714	704	89	98.6
令和3年	706	693	78	98.2	696	689	76	99.0
令和4年	601	606	54	100.8	619	614	61	99.2
令和5年	603	580	50	96.2	599	578	46	96.5
区分 年度	3回目							
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)				
令和元年	714	613	67	85.9				
令和2年	714	712	90	99.7				
令和3年	711	660	76	92.8				
令和4年	657	604	50	91.9				
令和5年	609	567	51	93.1				

オ ロタウイルス感染症

(ア) 1価ワクチン

(単位：人)

区分 年度	1 回目				2 回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	214	261	28	122.0	160	218	25	136.3
令和 3 年	550	537	61	97.6	548	533	62	97.3
令和 4 年	450	446	48	99.1	450	462	50	102.7
令和 5 年	408	389	45	95.3	408	385	45	94.4

(イ) 5価ワクチン

(単位：人)

区分 年度	1 回目				2 回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	160	50	6	31.3	113	43	6	38.1
令和 3 年	156	147	13	94.2	148	138	12	93.2
令和 4 年	151	151	5	100.0	169	150	8	88.8
令和 5 年	190	183	3	96.3	190	184	2	96.8

区分 年齢	3 回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	47	37	4	78.7
令和 3 年	149	136	11	91.3
令和 4 年	148	140	8	94.6
令和 5 年	190	188	1	98.9

※令和 2 年 10 月 1 日からロタウイルス感染症の予防接種が定期接種となる

カ 不活化ポリオ

(単位：人)

区分 年度	第 1 期 初回 1 回目				第 1 期 初回 2 回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和 2 年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和 3 年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和 4 年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和 5 年	—	0	0	—	—	0	0	—

区分 年齢	第 1 期 初回 3 回目				第 1 期 追加			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	—	0	0	—	—	1	0	—
令和 2 年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和 3 年	—	0	0	—	—	2	0	—
令和 4 年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和 5 年	—	0	0	—	—	0	0	—

キ 4種混合

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	689	690	100	100.1	689	691	103	100.3
令和2年	714	698	88	97.8	713	703	84	98.6
令和3年	696	687	75	98.7	699	685	74	98.0
令和4年	619	615	58	99.4	636	614	63	96.5
令和5年	603	621	53	103.0	599	631	50	105.3
区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	697	695	96	99.7	764	760	81	99.5
令和2年	711	732	85	103.0	714	736	89	103.1
令和3年	685	672	79	98.1	703	700	70	99.6
令和4年	637	605	55	95.0	713	648	48	90.9
令和5年	590	640	49	108.5	608	648	48	106.6

ク 2種混合

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	859	712	4	82.9
令和2年	816	742	6	90.9
令和3年	873	684	5	78.4
令和4年	838	616	7	73.5
令和5年	785	622	6	79.2

ケ 麻しん・風しん

(ア) 麻しん・風しん

(単位：

人)

区分 年齢	第1期				第2期			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	713	697	86	97.8	847	796	35	94.0
令和2年	714	703	95	98.5	737	665	29	90.2
令和3年	703	679	70	96.6	785	729	29	92.9
令和4年	695	675	55	97.1	738	663	40	89.8
令和5年	656	569	46	86.7	781	698	26	89.4

(イ) 麻しん単抗原

(単位：人)

区分 年齢	第 1 期			第 2 期		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
令和元年	—	0	0	—	0	0
令和 2 年	—	0	0	—	0	0
令和 3 年	—	0	0	—	0	0
令和 4 年	—	0	0	—	0	0
令和 5 年	—	0	0	—	0	0

(ウ) 風しん単抗原

(単位：人)

区分 年齢	第 1 期			第 2 期		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
令和元年	—	0	0	—	0	0
令和 2 年	—	0	0	—	0	0
令和 3 年	—	0	0	—	0	0
令和 4 年	—	0	0	—	0	0
令和 5 年	—	0	0	—	0	0

(エ) 風しん第 5 期（風しんに関する追加的対策）

乳幼児期に接種機会の与えられなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査を受け、その結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明したものを除いて、令和 7 年 3 月 31 日までの時限措置として風しんの第 5 期の定期接種を行っています。

区分 年度	接種者数				
	対象者数	抗体 検査数	接種者数		接種率
			MR	風しん	
令和元年	—	1,017	205	0	—
令和 2 年	—	1,324	246	0	—
令和 3 年	—	578	133	0	—
令和 4 年	—	566	110	0	—
令和 5 年	—	102	13	0	—

コ 水痘

(単位：人)

区分 年齢	第 1 回				第 2 回			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	713	704	86	98.7	771	687	80	89.1
令和 2 年	714	712	94	99.7	721	708	87	98.2
令和 3 年	703	680	71	96.7	722	691	69	95.7
令和 4 年	713	672	53	94.2	707	613	46	86.7
令和 5 年	609	578	46	94.9	726	654	49	90.1

サ 日本脳炎

(単位：人)

区分 年齢	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	737	719	41	97.6	751	733	43	97.6
令和2年	779	773	56	99.2	779	795	56	102.1
令和3年	732	711	67	97.1	732	709	72	96.9
令和4年	739	685	50	92.7	739	646	40	87.4
令和5年	739	712	35	96.3	739	723	38	97.8
区分 年齢	第1期 初回 3回目				第2期			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	837	791	38	94.5	884	864	3	97.7
令和2年	724	752	34	103.9	780	887	12	113.7
令和3年	770	478	22	62.1	782	517	7	66.1
令和4年	744	834	58	112.1	807	871	12	107.9
令和5年	742	697	38	93.9	873	716	20	82.0

シ HPV感染症（子宮頸がん）

平成25年6月14日付け厚生労働省通知により、積極的勧奨が見合せとなっていたが、令和3年11月に、ワクチンの有効性が副反応のリスクを上回ると認められ、積極的勧奨が再開しました。令和4年度からキャッチアップ*対象者への定期接種も実施となりました。

(単位：人)

区分 年齢	小学6年生～高校1年生の女子											
	1回目				2回目				3回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和元年	424	1	0	0.2	424	2	1	0.5	424	2	1	0.5
令和2年	426	19	1	4.5	426	14	1	3.3	426	4	0	0.9
令和3年	417	69	2	16.5	417	67	2	16.1	417	48	1	11.5
令和4年	856	99	1	11.6	856	78	0	9.1	856	55	0	6.4
令和5年	856	166	1	19.4	856	129	1	15.1	856	78	0	9.1
区分 年齢	キャッチアップ*対象者											
	1回目				2回目				3回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和4年	—	230	0	—	—	208	0	—	—	157	0	—
令和5年	—	148	2	—	—	134	3	—	—	143	1	—

*キャッチアップ接種

積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対し従来の定期接種の対象年齢を超えて接種。

接種期間は、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間。

令和4年度対象者は、平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ的女子

令和5年度対象者は、平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれ的女子

ス HPV感染症に係る任意接種償還払

区分 年度	申請者数(人)	接種回数(回)
令和4年	7	14
令和5年	1	2

※積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逃した人の中で、定期接種の対象年齢を過ぎてHPVワクチンの任意接種を受けた者 1～3回

(2) 定期の予防接種(B類疾病)

定期の予防接種のうち、B類疾病については、個人の発病又はその重症化を防止し、あわせてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病であり、費用の一部を市が負担しております。

ア 高齢者インフルエンザ

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数				接種率 (%)
		60歳以上 65歳未満	再掲) 広域分	65歳以上	再掲) 広域分	
令和元年	23,159	14	0	11,799	382	51.0
令和2年	23,247	8	0	15,525	591	66.8
令和3年	23,219	12	0	13,017	547	56.1
令和4年	23,125	15	2	13,501	536	58.4
令和5年	23,097	8	0	12,008	514	52.0

イ 高齢者の肺炎球菌感染症

(単位：人)

区分 年齢	60歳以上 65歳未満			65歳			70歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
令和元年	0	0	0	823	414	5	545	114	4
令和2年	24	0	0	775	473	5	1,142	116	1
令和3年	21	1	0	821	489	5	505	88	4
令和4年	0	0	0	860	440	2	457	95	3
令和5年	0	0	0	815	385	5	396	76	4
区分 年齢	75歳			80歳			85歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
令和元年	476	96	1	376	61	2	239	40	2
令和2年	842	75	1	949	89	3	561	42	0
令和3年	557	117	2	420	86	2	254	54	1
令和4年	628	86	7	453	60	2	320	48	1
令和5年	613	117	4	438	80	3	287	49	3

区分 年齢	90 歳			95 歳			100 歳		
	対象 者数	接種 者数	再掲) 広 域 分	対象 者数	接種 者数	再掲) 広 域 分	対象 者数	接種 者数	再掲) 広 域 分
令和元年	88	6	0	40	4	2	19	1	0
令和2年	220	14	1	74	9	1	11	0	0
令和3年	120	24	1	35	5	2	8	3	0
令和4年	136	19	0	50	4	0	10	1	0
令和5年	137	16	0	68	12	1	8	0	0
区分 年齢	101 歳以上			合計					
	対象 者数	接種 者数	再掲) 広 域 分	対象 者数	接種 者数	再掲) 広 域 分	接種率 (%)		
令和元年				2,606	736	16	28.2		
令和2年				4,598	818	12	17.8		
令和3年				2,741	867	17	31.6		
令和4年				2,914	753	15	25.8		
令和5年				2,762	735	20	26.6		

(3) 任意接種

予防接種法に基づかない予防接種（任意接種）について、「風しん」「インフルエンザ」「帯状疱疹」の予防接種のうち、特定の対象者に対し、一部費用の助成を行っています。

ア 大人の風しん（任意）（単位：人）

区分 年度	対象者数	接種者数	
		MR	風しん
令和元年	38	37	0
令和2年	10	10	0
令和3年	15	9	5
令和4年	17	15	2
令和5年	12	10	1

※風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でないと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で助成を受けたことがない妊娠を予定又は希望している女性（妊婦を除く）

イ 子どもインフルエンザ

平成 26 年度から接種費用の一部助成事業を実施しています。

(ア) 1 歳～小学生

(単位：人)

区分 年度	対象者数	1 回目	接種率 (%)	2 回目	接種率 (%)
令和元年	9,378	5,291	56.4	4,768	50.8
令和 2 年	9,234	5,468	59.2	4,905	53.1
令和 3 年	9,138	4,362	47.7	4,105	44.9
令和 4 年	9,031	3,757	41.6	3,481	38.5
令和 5 年	8,910	3,422	38.4	3,113	34.9

(イ) 中学生

(単位：人)

区分 年度	対象者数	1 回目	接種率 (%)
令和元年	2,622	1,240	47.3
令和 2 年	2,559	1,182	46.2
令和 3 年	2,595	889	34.3
令和 4 年	2,603	807	31.0
令和 5 年	2,592	811	31.3

ウ 帯状疱疹

令和 5 年 9 月から接種日において 50 歳以上の方を対象に接種費用の一部助成事業を開始しています。

区分 年度	対象者数	接種者数	接種率 (%)	再掲) ワクチンの種類	
				生ワクチン (ビケン)	不活化ワクチン (シングリックス)
令和 5 年	40,878	816	2.0	615	201

エ 特別の理由による任意接種助成事業

令和 2 年度から、骨髄移植手術その他の理由により、免疫を失い、接種済みの定期的予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度、予防接種を受ける方に対し、予防接種に要する費用の一部を助成しています。

区分 年度	申請者(実 人員)	予防接種の種目数
令和 2 年	0	－
令和 3 年	0	－
令和 4 年	0	－
令和 5 年	0	－

8 新型コロナウイルス 感染症対策事業

1 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）の発生に伴い、国により、令和2年1月29日に「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」が設置され、令和2年2月7日に新型コロナウイルス感染症を指定感染症に指定する政令が施行されました。

市では、令和2年2月4日に「あま市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染状況に応じて、対策本部会議の開催や感染症予防の呼びかけを実施してきました。

（1）あま市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

令和2年2月4日にあま市新型コロナウイルス感染症に関する検討会を開催し、「あま市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を設置しました。

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類感染症」に移行したため、同日に「あま市新型コロナウイルス感染症対策本部」も廃止しました。

区分 年度	開催回数 (回)
令和元年	5
令和2年	19
令和3年	9
令和4年	1

（2）主な感染症対策

対策内容	周知・実施方法
感染症対策の周知	市公式ウェブサイト、市公式 LINE、広報、YouTube 動画による周知 公用車でのアナウンス 新しい生活様式についてのポスター作成
公共施設の感染症対策	公共施設の一部利用制限 公共施設でクラスターが発生した場合のフローチャート作成 感染症対策ポスター、アクリル板、体温計、消毒液の設置 こまめな換気の実施
職員の感染症対策	職員感染時のフローチャート作成 体調管理の徹底

2 新型コロナワクチン接種事業

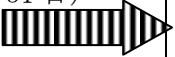
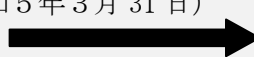
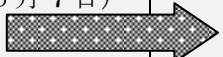
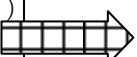
国の方針により、新型コロナウイルス感染症対策のため、新型コロナワクチンの特例臨時接種を令和3年2月17日から令和6年3月31日まで実施しました。

令和6年度以降は、特例臨時接種ではなく、B類疾病の定期接種（季節性インフルエンザと同様）としての実施となります。

（1）令和5年度実績

NO	事業名	対象年齢・接種回数	実績
1	新型コロナワクチン接種（初回接種）	・生後6か月以上・2回または3回 16歳以上:令和3年2月17日接種開始 12歳以上:令和3年6月1日接種開始 5歳以上:令和4年2月21日接種開始 - 生後6か月以上:令和4年10月24日接種開始 (令和3年2月17日～令和6年3月31日)	85
2	新型コロナワクチン接種 令和4年秋開始接種	・12歳以上の最終接種日から原則、3か月以上経過した者（3～5回目） ・1人1回のみ ・2価ワクチン (令和4年9月20日～令和5年5月7日)	130
3	新型コロナワクチン接種 令和4年秋開始接種 (5～11歳)	・5～11歳の最終接種日から原則、3か月以上経過した者（3・4回目） ・1人1回のみ ・2価ワクチン (令和5年3月8日～令和5年9月19日)	109
4	新型コロナワクチン接種 令和5年春開始接種	・65歳以上の高齢者及び5歳以上の重症化リスクが高い者であり、最終接種日から原則、3か月以上経過した者（3～6回目） ・1人1回のみ ・2価ワクチン (令和5年5月8日～令和5年9月19日)	11, 151
5	新型コロナワクチン接種 令和5年秋開始接種	・生後6か月以上の最終接種日から原則、3か月以上経過した者（3～7回目） ・1人1回のみ ・XBB.1.5対応1価ワクチン (令和5年9月20日～令和6年3月31日)	14, 245

(2) 接種スケジュール

区別 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
初回接種	(令和3年2月17日～令和6年3月31日)			
3回目 (12歳以上)	(令和3年12月1日～令和5年3月31日)			
3回目 (5～11歳)	(令和4年9月6日～令和5年3月31日)			
4回目	(令和4年5月25日～令和5年3月31日)			
令和4年秋開始接種 (12歳以上)	(令和4年9月20日～令和5年5月7日)			
令和4年秋開始接種 (5～11歳)	(令和5年3月8日～令和5年9月19日)			
令和5年春開始接種	(令和5年5月8日～令和5年9月19日)			
令和5年秋開始接種		(令和5年9月20日～令和6年3月31日)		

NO	事業名	対象年齢・接種回数
1	新型コロナウイルスワクチン接種 (初回接種)	・生後6か月以上・2回または3回 16歳以上:令和3年2月17日接種開始 12歳以上:令和3年6月1日接種開始 5歳以上:令和4年2月21日接種開始 - 生後6か月以上:令和4年10月24日接種開始 (令和3年2月17日～令和6年3月31日)
2	新型コロナウイルスワクチン接種 (3回目)	・12歳以上の2回目接種日から原則、3か月以上経過した者(令和3年12月1日～令和5年3月31日) ・5歳から11歳の2回目接種日から原則、5か月以上経過した者(令和4年9月6日～令和5年3月31日)
3	新型コロナウイルスワクチン接種 (4回目)	・60歳以上または18歳以上の基礎疾患等を有する者、医療従事者等及び高齢者施設等の従事者の3回目接種日から原則、3か月以上経過した者 (令和4年5月25日～令和5年3月31日)
4	新型コロナウイルスワクチン接種 令和4年秋開始接種	・12歳以上の最終接種日から原則、3か月以上経過した者(3～5回目) ・1人1回のみ ・2価ワクチン (令和4年9月20日～令和5年5月7日)

5	新 型 コ ロ ナ ワ ク チ ン 接 種 令 和 5 年 春 開 始 接 種	・ 65 歳以上の高齢者及び 5 歳以上の重症化リスクが高い者であり、最終接種日から原則、3 か月以上経過した者（3～6 回目） ・ 1 人 1 回のみ ・ 2 価ワクチン (令和 5 年 5 月 8 日～令和 5 年 9 月 19 日)
6	新 型 コ ロ ナ ワ ク チ ン 接 種 令 和 5 年 秋 開 始 接 種	・ 生後 6 か月以上の最終接種日から原則、3 か月以上経過した者（3～7 回目） ・ 1 人 1 回のみ ・ XBB. 1. 5 対応 1 価ワクチン (令和 5 年 9 月 20 日～令和 6 年 3 月 31 日)

(3) 令和 5 年春開始接種実績 (令和 5 年 5 月 8 日～令和 5 年 9 月 19 日接種分)

年代 \ 区分	対象者数	接種者数	接種率 (%)
12 歳以上 65 歳未満	56, 847	964	1. 69
65 歳以上	22, 916	10, 187	44. 45

(4) 令和 5 年秋開始接種実績 (令和 5 年 9 月 20 日～令和 6 年 3 月 31 日接種分)

年代 \ 区分	対象者数	接種者数	接種率 (%)
生後 6 か月以上 5 歳未満	3, 395	25	0. 73
5 歳以上 11 歳未満	5, 474	85	1. 55
12 歳以上 65 歳未満	56, 847	5, 005	8. 80
65 歳以上	22, 916	9, 130	39. 84
合計	88, 632	14, 245	16. 07

(5) 総接種実績 (令和 3 年 2 月 17 日～令和 6 年 3 月 31 日接種分)

ア 乳幼児 (生後 6 か月～4 歳 : 人口 3, 395 人 (R6. 3. 1 時点))

回数 \ 区分	接種回数 (回)	接種率 (%)
1 回目	79	2. 3
2 回目	77	2. 3
3 回目	67	1. 9
4 回目	25	0. 7

イ 小児（５歳～１１歳：人口 ５,４７４人（Ｒ６.３.１時点））

回数 \ 区分	接種回数 (回)	接種率 (%)
１回目	１,２０７	２２.０
２回目	１,１８６	２１.７
３回目	４３６	８.０
４回目	１３６	２.５
５回目	５６	１.０

ウ １２歳以上（１２歳以上：人口 ７９,７６３人（Ｒ６.３.１時点））

回数 \ 区分	接種回数 (回)	接種率 (%)
１回目	７０,１６８	８８.０
２回目	６９,８６１	８７.６
３回目	５７,０３２	７１.５
４回目	３６,１３０	４５.３
５回目	２１,８７７	２７.４
６回目	１２,０３５	１５.１
７回目	７,９５５	１０.０

再掲：１回目内訳 １２歳以上 ６５歳未満 ４８,３５９人 ８５.１％、６５歳以上 ２１,８０９人 ９５.２％

（６）間違い報告

年度 \ 区分	報告件数	内容
令和３年	４	不必要な接種１、接種間隔誤り３
令和４年	１３	接種ワクチン誤り７、不必要な接種１、接種量誤り３、期限切れ２（１６）
令和５年	６	接種ワクチン誤り２、不必要な接種１、接種間隔誤り２、接種量誤り１

（７）コロナ相談ダイヤル

新型コロナワクチンに関する相談及び接種後の副作用等についての相談として、令和３年度から２４時間対応のフリーダイヤルを設置し、令和５年度で終了しました。

年度 \ 区分	相談者数 (人)
令和３年	４,６６５
令和４年	１,３６０
令和５年	３５９

9 自殺対策事業

1 自殺対策事業

平成 28 年の自殺対策基本法の改正により、自殺対策の新たな位置づけが「生きることの包括的な支援」となり、地方自治体に自殺を防ぐための計画策定が義務付けられ、平成 30 年度から令和 9 年度までの 10 年間の期間とした「あま市自殺対策計画」を策定し取り組んでいます。

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容	令和 5 年度
				最終実績
1	あま市自殺対策 ネットワーク会議	1 回	関係機関及び団体と連携し、自殺対策を総合的かつ効果的に推進する	1 回
2	あま市自殺対策 推進本部	1 回	計画の進捗管理及び施策の調整等 を行う 本部・幹事会 部会	本部・幹事会 1 回
3		随時		部会 1 回
4	ゲートキーパー 養成講座	3 回	自殺対策に係る人材の確保・養成 新規採用職員、市職員、民生児童 委員（七宝地区）、居宅介護支援 事業所および介護事業所の職員を 対象に実施	76
5	自殺防止 普及啓発	通年	自殺防止パンフレット配付 （あまのわ、はたちの式） 自殺対策強化月間に街頭啓発 市内ポストにシールを貼付 市内医療機関・調剤薬局に相談窓 口リーフレットの設置 広報あま、市公式 LINE 等	3,777
6	あま安心ダイヤル	通年	24 時間電話相談 （うちメンタル再掲）	838 (435)
7	精神保健相談会	3 回	精神科医師による個別相談	5
8	こころの相談室	通年	公認心理師（臨床心理士）による 個別相談 随時	3

2 自殺対策事業詳細

(1) あま市自殺対策ネットワーク会議

自殺対策基本法に基づき、関係機関及び団体と連携し、生きるための包括的な支援を推進することにより、自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、平成30年度からあま市自殺対策ネットワーク会議を実施しています。

区分 年度	回数（回）	開催日
令和元年	1	令和元年5月20日
令和2年	1（書面）	令和2年11月6日
令和3年	1（書面）	令和4年3月7日
令和4年	1（書面）	令和4年9月5日
令和5年	1	令和5年8月9日

(2) あま市自殺対策推進本部

市の自殺対策の推進体制を確立するため、庁内関係部局が横断的に参画するよう、あま市自殺対策本部会を開催し、計画の進捗管理及び施策の調整等を行っています。令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症禍であったため、本部・幹事会は書面会議となり、関係部会は関係課とのヒアリングとなりました。

区分 年度	本部・幹事会（関係部課長）		部会（関係課担当職員）	
	回数（回）	開催日	回数（回）	開催日
令和元年	1	平成31年4月24日	2	令和元年5月15日 令和2年2月26日
令和2年	1（書面）	令和2年8月28日	1（ヒアリング）	令和3年3月31日
令和3年	1（書面）	令和3年11月12日	1（ヒアリング）	令和4年3月28日
令和4年	1（書面）	令和4年11月10日	2 （内ヒアリング1回）	令和4年7月5日 令和4年12月5日
令和5年	1	令和5年7月19日	1（ヒアリング）	令和5年6月12日

(3) ゲートキーパー養成講座

多くの市民が「ゲートキーパー」となり、周りの人の異変に気づいたときに適切に行動ができるよう人材育成をするため、ゲートキーパー養成講座を開催しており、令和5年度においては、対象者を拡大し、居宅介護支援事業所及び介護事業所の職員に向けて養成講座を実施しました。

区分 年度	回数 (回)	参加者数 (人)	参加者数内訳 (人)				
			民生委員	一般市民	薬剤師	職員	再掲) (新規)
令和元年	2	46	30	8		8	
令和2年	1	15		8		7	
令和3年	1	21				21	(21)
令和4年	4	122	67	7	7	41	(29)
令和5年	3	76	25	15	介護事業所 9	27	

※職員…平成30年度は全市職員、令和元年度以降は、自殺対策本部会員、新規市職員・健康推進課職員が受講

(4) 自殺防止普及啓発

「あまのわ」や「はたちの式」での自殺防止パンフレット配布や市内医療機関・調剤薬局に相談窓口リーフレットを設置し、自殺対策強化月間では、街頭での啓発活動を行い、自殺防止の普及・啓発を実施しています。

・年度別啓発実施状況

区分 年度	啓発数 (人)	回数 (回)			その他 (新たな取組)
		街頭啓発	あまのわ	はたちの式	
令和元年	2,650	1			
令和2年	3,400	1	0	1	缶バッジ「守りたいところと命」作成
令和3年	2,385	0	1	1	市公式LINE及びメール配信サービス
令和4年	2,770	1	1	1	相談窓口リーフレット設置 (医療機関・薬局)
令和5年	3,777	2	1	1	あまつりで自殺防止パンフレット配布

・年度別街頭啓発実施状況 (自殺予防週間と自殺対策強化月間での啓発)

区分 年度	自殺予防週間		自殺対策強化月間 (3月)	
	実施日	場所	実施日	場所
令和元年	9月13日	名鉄木田駅周辺	中止	
令和2年	9月16日	名鉄甚目寺駅周辺	中止	
令和3年	中止		啓発物品配布 (保健センター窓口)	
令和4年	中止		3月7日	名鉄甚目寺駅周辺
令和5年	9月12日	名鉄甚目寺駅周辺	3月5日	名鉄甚目寺駅周辺

(5) あま安心ダイヤル

令和2年度（令和3年3月）から、健康やこころの相談窓口として、24時間電話相談可能な「あま安心ダイヤル（0120-201-072）」を設置しました。

区分 年度	相談者数（人）			再掲）ストレス・メンタルヘルスに関する相談（件）
	総数	男性	女性	
令和2年	31	20	11	11
令和3年	946	369	577	64
令和4年	414	145	269	133
令和5年	838	300	538	435

参考：上記「ストレス・メンタルヘルスに関する相談」以外の内容別件数

区分 年度	健康保持・増進	身体症状	家庭看護	治療に関する	母子保健	育児	夜間・休日医療	紹介・手配	その他
令和2年	1	3	3	3	0	0	0	1	9
令和3年	58	79	23	60	0	0	9	18	635
令和4年	11	82	26	72	0	0	3	9	78
令和5年	6	76	39	121	0	0	4	2	155

受付時間

年度 \ 時間	0～3	3～6	6～9	9～10	12～15	15～18	18～21	21～24
令和2年	3	0	1	8	3	5	7	4
令和3年	7	6	88	307	197	218	84	39
令和4年	17	12	24	64	59	55	64	119
令和5年	91	30	34	118	145	105	103	212

(6) 精神保健相談会

自殺対策ネットワーク会議の委員である精神科医師との連携強化として、令和元年度から精神保健相談会を開始し、年3回精神科医師による個別相談を行っています。令和3年度までは、精神保健相談会の開催日時を周知し、相談者等からの予約を待つ体制であったが、令和4年度から随時相談者のうち、精神科医師による相談につなげる必要があると判断した場合は、積極的に精神保健相談会を紹介し、つなげる体制にしました。

区分 年度	開催回数 (回)	相談者数 (人)	相談内容
令和元年	2	1	家族からの相談（ひきこもり）
令和2年	1	1	本人からの相談（うつ状態）
令和3年	1	1	職員からの相談（死にたいと訴えるケース対応）
令和4年	3	5	家族からの相談（ひきこもり）、自死遺族、本人からの相談（就職・人間関係）
令和5年	3	5	家族からの相談（ひきこもり、精神症状があり医療につながない）、職員からの相談（精神既往のある妊婦対応）

(7) こころの相談室

臨床心理士（公認心理師）による個別相談を各保健センターで実施しています。

年度\区分	相談者(人)	相談内容
令和元年	2	
令和2年	4	本人からの相談（産後うつ傾向、人間関係、夫婦関係、家族関係）
令和3年	2	本人からの相談（メンタル不調）、家族からの相談（メンタル不調）
令和4年	2	本人からの相談（気持ちの落ち込み）、上司からの相談（気持ちの不安定な職員への対応について）
令和5年	3	家族からの相談（同居娘との関わり方）、本人からの相談（心身不調・来への不安）、病気（てんかん発作）について

(8) こころの体温計

令和2年度まで日々の生活の中で感じるストレスや気持ちの落ち込み度をパソコンや携帯電話を利用してチェックできるように、市公式ウェブサイト「こころの体温計」を掲載しました。

年度\区分	利用者数（人）
平成30年	16,607
令和元年	9,577
令和2年	10,722

(9) 児童生徒の SOS の出し方に関する教育の推進

社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるための教育を推進するため、SOSの出し方に関する教育について学習する機会を市内小中学校で設けています。教育の推進を図るため、令和元年度からあま市養護教諭部会に参加し、ストレスの対処方法や相談先などについて統一した指導ができるよう指導案を作成し、令和5年度から養護教諭により、統一的な指導案を使用した教育の推進を行っています。

年度\区分	養護教諭部会 参加日	SOS 出し方教育についての健康推進課の取組
令和元年	令和2年2月12日	あま市養護教諭部会に参加 統一した指導案を作成していくことを決定
令和2年	中止	指導案検討
令和3年	令和4年1月26日	指導案検討（中学校は全校統一内容で推進）
令和4年	令和5年2月3日	指導案完成
令和5年	—	市内全小中学校で実施を推進 小学校：「合言葉はきょうしつ」「私の気持ちどんなふうに伝えよう」「心の元気のために！」中学校：「こころの健康のために」

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

10 そ の 他

1 保健師活動状況

(1) 年度別活動内容（保健センター部分、常勤保健師のみ）

年度			令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
業務内容			単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)
地区 管理	調査研究		34	0.5	9	0.1	9.5	0.1	128	1.9	0	0.0
	地区管理		834	13.2	1661	24.9	1184	15.5	1916	28.5	3041.5	37.3
保健福祉事業	家庭訪問		437	6.9	392.5	5.9	461.5	6.1	510	7.6	608	7.5
	健康相談		998.5	15.8	555.5	8.3	511.5	6.7	840	12.5	914	11.2
	保健指導		414.5	6.5	730	11.0	169.5	2.2	828.5	12.3	764	9.4
	デイケア		2	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0
	健康診査		944.5	14.9	648.5	9.7	837.5	11.0	873	13.0	770.5	9.4
	健康教育		127	2.0	104	1.6	124	1.6	160	2.4	143	1.8
	地区組織活動		106	1.7	21	0.3	106.5	1.4	146	2.2	86.5	1.1
	機能訓練		2	0.0	1	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
	予防接種		316	5.0	153.5	2.3	2270	29.8	108.5	1.6	12	0.1
	その他		216	3.4	428	6.4	651.5	8.5	66	1.0	327.5	4.0
コ ー デ イ ネ ー ト	会議	個別	81.5	1.3	58	0.9	65	0.9	128	1.9	112.5	1.4
		地域	91.5	1.4	107.5	1.6	118	1.5	75	1.1	62	0.8
	会議 以外	個別	97.5	1.5	110	1.7	72	0.9	172	2.6	205.5	2.5
		地域	34	0.5	115	1.7	13	0.2	31	0.5	38.5	0.5
教育 研修	研修企画		1	0.0	1	0.0	6	0.1	3	0.0	4	0.0
	実習指導		23	0.4	15	0.2	11	0.1	1	0.0	38	0.5
業務管理			516	8.2	466.5	7.0	56	0.7	95.5	1.4	178	2.1
業務連絡・事務			684.5	10.8	857.5	12.9	655.5	8.6	291	4.3	471	5.8
研修参加			240	3.8	66.5	1.0	150.5	2.0	186	2.8	338	4.1
その他			129.5	2.0	164	2.5	152.5	2.0	175	2.6	43.5	0.5
計			6,330	100.0	6,665	100.0	7626	100.0	6734.5	100.0	8158	100.0
保健師数			14人		15人		18人		16人		19人	
一人当たりの平均単位数			452.1		444.3		423.7		420.9		429.3	

※1単位を4時間とする。

(2) 年度別家庭訪問状況

年度			令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
種 別			被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率	被指導 延人員	率
感染症			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
結核			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	DOTS（再掲）		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神保健福祉			5	0.6	24	3.1	0	0.0	19	2.7	11	1.1
成人・高齢者保健	個別健康教育		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	要指導者		5	0.6	0	0.0	0	0.0	2	0.3	0	0.0
	閉じこもり予防		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	介護家族者		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ねたきり者		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	認知症の者		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	介護予防事業		1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	特定保健指導		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他		2	0.2	20	2.6	10	1.0	0	0.0	9	0.9
	成人・高齢者合計		8	0.9	20	2.6	10	1.0	2	0.3	9	1.0
難 病			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
母子保健	妊 婦		9	1.0	47	6.1	4	0.4	7	1.0	37	3.7
	産 婦		353	39.4	248	32.0	404	41.9	241	33.8	420	41.5
	乳 児	新生児	13	1.5	9	1.2	22	2.3	6	0.8	13	1.3
		未熟児	17	1.9	24	3.1	12	1.2	8	1.1	10	1.0
		その他	355	39.6	299	38.6	383	39.7	319	44.7	432	42.6
	幼 児		132	14.7	97	12.5	114	11.8	95	13.3	69	6.8
	その他		4	0.4	5	0.6	3	0.3	17	2.4	12	1.2
	母子合計		883	98.5	729	94.2	942	97.7	693	97.1	993	98.0
そ の 他	公害保健		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他		0	0.0	1	0.1	12	1.2	0	0.0	0	0.0
	その他合計		0	0.0	1	0.1	12	1.2	0	0.0	0	0.0
計			896	100.0	774	100.0	964	100.0	714	100.0	1,013	100.0

(3) 年度別コーディネート件数（会議以外）状況

年度	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
種別	個別	地域	個別	地域	個別	地域	個別	地域	個別	地域
結核・感染症	1	0	0	22	0	0	13	0	0	0
精神	0	0	1	7	1	3	3	0	13	0
健康増進	0	1	12	1	8	0	23	0	0	0
高齢者	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0
障害児・者	4	2	11	0	7	1	11	0	1	0
難病	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
母子	118	10	59	22	23	3	55	2	82	2
その他	1	2	3	9	4	0	1	0	5	0
合計	124	16	89	61	43	8	107	2	101	2

2 学生実習指導

区分 年度	保健師		管理栄養士		歯科衛生士	
	学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
令和元年	修文大学	3人			名古屋医療スポーツ専門学校	13人
令和2年	中部大学	2人				2人
令和3年	中部大学	3人				6人
令和4年	中止	-				6人
令和5年	中部大学	2人	名古屋学芸大学	2人		2人

3 骨髄ドナー等助成事業

骨髄・末梢血幹細胞を提供する方の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図るため、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄等を提供した方（以下「ドナー」とする）及びドナーを雇用している事業所に対する助成金の交付を令和元年度から実施しています。

【ドナー】

提供日に市内に住所を有し、日本骨髄バンクを介して骨髄又は末梢血管細胞の提供を行ったドナーに対し1日につき2万円（上限7日）を交付

【事業所】

上記ドナー（個人事業主を除く）が勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人及び国立大学法人を除く）に対し、1日につき1万円（上限7日）を交付

区分 年度	ドナー		事業所	
	申請者数 (人)	助成日数 (日)	申請者数 (人)	助成日数 (日)
令和元年	1	7	1	7
令和2年	3	21	0	0
令和3年	2	14	0	0
令和4年	0	0	0	0
令和5年	0	0	0	0

【啓発】

市公式ウェブサイト及び広報あま

4 救急医療情報キットの配布

健康上不安を抱えている人に、かかりつけ医療機関関連情報、既往歴、服用薬等の救急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットを配布することにより、救急時において市民の安全と安心の確保を図っています。

【配布状況】

区分 年度	配布数 (セット)	配布場所
令和元年	138	甚目寺・七宝・美和保健センター 甚目寺・七宝・美和包括支援センター 甚目寺・七宝・美和市民サービスセンター 社会福祉課窓口
令和2年	488	
令和3年	336	
令和4年	193	
令和5年	606	甚目寺・七宝・美和保健センター（東部消防署へ）

5 献血

現在、医療において輸血は欠かすことができない治療法の一つです。輸血に必要な血液を安定的に確保するために、献血の推進と活動を実施しています。

区分 年度	実施回数 (回)	受付者数 (人)	献血者数	実施会場
			400ml	
令和元年	4	101	87	甚目寺庁舎 美和保健センター
令和2年	4	110	99	
令和3年	4	104	92	
令和4年	4	111	91	
令和5年	2	122	110	市役所

※平成30年度より400mlのみの受付

6 災害対策訓練

区分 年度	訓練日	訓練名	参加者（所属）
令和4年	令和5年1月18日（水）	医療救護班救護所設置訓練	健康推進課 安全安心課 （現在、危機管理課）
令和5年	令和6年1月15日（月）	災害初動時情報伝達メール送受信訓練（市内医師会医療機関）	健康推進課 海部医師会事務局

編集・発行

令和6年10月

愛知県あま市西今宿馬洗46番地

あま市役所子ども健康部健康推進課

電話 (052) 443-0005

FAX (052) 443-5461

メール kenko@city.ama.lg.jp